Silver Star Japan Music Score Series





# Music Score PRO3



◆MusicScore PRO3の主な新機能◆10
◆MusicScore PRO3 の準備◆11
● MusicScore PRO3 の動作環境
• MusicScore PRO3 のインストール
● MusicScore PRO3 のアンインストール
● <b>MIDI</b> 機器の接続
● <b>MIDI 環境設定</b>
◆画面解説◆17
メインウィンドウ
●各部名称17
●譜表の見方18
●譜面上での操作19
●範囲選択20
●右クリックメニュー20
標準ツールバー
●ファイル編集ボタン
●ポインタボタン
●演奏ボタン23
●補助ウィンドウボタン23
入力ツールバー
1. ラッチボタン 🚺
2. 音部記号(F3) 🗳
<ドラム譜の設定方法>
<タブ譜の設定方法>29
<数字譜の設定方法>
3. 音符(F4) 🚽

	<midi キーボードによる音符入力=""></midi>	35
4.	. アーティキュレーション(F5) F	36
5.	. オーナメント(F6) 🏹	36
6.	. 強弱記号(F7),,,	37
7.	. 繰り返し記号(F8)	37
	<エンディング(繰り返し括弧)の設定>	
	<繰返し記号( <b>D.C./D.S</b> .)の設定>	39
8.	. ツールボックス(F9) 훣	40
	<タイを入力するには>	40
	< スラーを入力するには>	
	<オクターブ記号を入力するには>	
	<フルペダル記号、ハーフペダル記号の入力>	41
	<midiイベント></midiイベント>	41
9.	タブ譜入力パレット(F10)TAB	43
10	0. 数字譜パレット <b>N</b>	
11	1. 図形パレット(F11)	
12	2 カラーパレット(F12)	45
13	$\frac{1}{3}$ $\int \int \int$	
14	<ul> <li>Λ ページテキスト(C+r) + Δ1+ + W)</li> </ul>	46
15		
10		40
10	0. 叭叫♡瀰朱▲■	41
17	7. テンポ設定(Ctrl + Alt + R)	48
10		10
18	8. コートネームの選択 (Ctrl + Alt + A) ー 1	<b>49</b> 50
19	9. コードネームの自動入力 🔐	51

20.	リズムの選択(Ctrl+Alt+S) 🗑	.52
<1	リズムを入力するには>	52
21.	発想標語の選択Exp	.53
 < 3	ジーニャー・ ー・ 発想標語を入力するには>	53
22.	カスタムシンボルの選択 §	.53
22.	音程録音 🌾	.55
イメージ	ツールバー	56
書式バ-	-(Ctrl+F10)	57
ステータ	マスパー	57
コントロー	ールパネル	58
<7	ボイスごとの音符入力、編集>	58
ツールノ	ベー/パレットのレイアウト変更	59
メニュー	バー	60
1.	ファイルメニュー	.60
・新	規作成(Ctrl+N)	60
・テ	ンプレートから開く	60
•開	<(Ctrl+O)	61
•楽	:譜のマージ	61
•閉	じる	61
۰Ŀ	·書き保存(Ctrl+S)	61
・名	前をつけて保存	61
・イ	メージパラメータの設定(Ctrl+Alt+X)	62
・イ	メージとして保存(Ctrl+Alt+Z)	62
• / `	一下譜作成	63
<b>・</b> ラ	イブラリーの編集	63
۰Se	canMusic を起動	69
•^	ッダーフッター編集	69

	<ul> <li>・楽曲情報</li> </ul>	. 70
	・プリンタの設定	. 70
	・印刷プレビュー	. 71
	・印刷 (Ctrl + P)	. 71
	・最近使ったファイル	. 72
	・終了 (Alt + F4)	. 72
2	. 編集メニュー	.73
	・元に戻す(Ctrl+Z)	. 73
	・やり直し(Ctrl+Y)	. 73
	・切り取り(Ctrl+X)	. 73
	・コピー(Ctrl+C)	. 73
	・貼り付け(Ctrl+V)	. 73
	・クリア (Del)	. 73
	<ul> <li>・音符所属記号の削除</li> </ul>	. 73
	<ul> <li>・カレットの前/後の部分を一括削除</li> </ul>	. 73
	・ページ選択(Ctrl+A)	. 73
3.	. 表示メニュー	74
	・標準バー(Shift+F9)	. 74
	・ステータスバー	. 74
	・ツールウィンドウ	. 74
	・大きいアイコン	. 74
	・描き直し(Ctrl+R)	. 74
	・ハンドルを常に表示(Alt+C)	. 74
	・リズム(Alt+R)	. 74
	・MIDI イベント	. 74
	・ルーラー	. 74
	・ページライン	. 74

	•残り入力可能数	75
	<ul> <li>・拡大縮小</li> </ul>	75
	・ScanMusic 楽譜(Alt + 2)	75
4.	音符メニュー	.75
	・音符属性変更(Ctrl+I)	75
	・サイズ変更(Ctrl+Shift+C)	76
	・臨時記号	76
	<ul> <li>・符尾の向き</li> </ul>	77
	・ボイス移動	77
	・タイ(Ctrl+T)	77
	・スラー(Ctrl+L)	77
	<ul> <li>・連桁</li> </ul>	77
	・移調(Ctrl+Shift+P)	78
	・音価変更(Ctrl+Shift+D)	79
	・連符設定(Ctrl+Shift+L)	79
	・ベロシティー変更(Ctrl+Shift+V)	80
	・上の譜表/下の譜表に表示(Ctrl+Alt+U)(Ctrl+Alt+D)	80
	・和音に変換(Ctrl+Alt+C)	81
	・装飾音に変換(Ctrl+Alt+G)(Shift+Alt+G)	81
	・微調整(Ctrl+↑、↓、←、→)	81
5.	小節メニュー	.82
	・小節挿入(Ctrl+W)	82
	·小節削除	82
	・ブロックの小節数を増やす/減らす(Ctrl++)(Ctrl+-)	83
	・拍子変更(Ctrl+F)	84
	・調号変更(Ctrl+K)	87
	•小節番号	87

	<ul> <li>休符省略</li> </ul>	88
	・小節表示属性(Ctrl+Shift+M)	89
	・スペーシング(Ctrl+J)	89
6.	楽譜メニュー	.90
	・譜表挿入(Alt + D)	90
	<ul> <li>・譜表削除</li> </ul>	92
	<ul> <li>・スプリット・ノート</li> </ul>	92
	・再クオンタイズ(Ctrl + Shift + R)	93
	・譜表属性(Ctrl + Shift + S)	93
	・譜表連結/解除(Alt + Q)	94
	・譜表を隠す(Ctrl + H)	94
	・譜表の表示(Ctrl + テンキーの*)	95
	・ページ挿入(Alt + T)	95
	<ul> <li>ページ削除</li> </ul>	95
	・背景イメージ挿入	96
	<ul> <li>・背景イメージ削除</li> </ul>	96
	・背景イメージ設定	96
	・オシア	97
	・楽譜ページレイアウト	97
	•編成	. 98
7.	設定メニュー	.99
	・MIDI 入出力ポート設定	99
	・MIDI ファイル読み込み/録音設定1	101
	・ パロノーム音設定 1	102
	・基本設定(Alt + L)1	102
	表示1	102
	ボイス1	104

	カラー	105
	フォント	106
	タイ/スラー	107
	間隔	108
	規格	108
	演奏	109
	括弧	110
	数字譜	111
	・録音時メトロノーム音出し	112
	・プレイバックフォロー(Alt + K)	112
	・自動伴奏をする(Alt + A)	112
	<ul> <li>リピート演奏</li> </ul>	112
	・連桁の自動連結(Alt + B)	112
	・自動間隔調整(Alt + J)	112
	・編集音を出す(Alt + P)	112
	・エラーを表示する	112
	・マルチページ	112
	・ブロックの自動調節	113
8	3. ウィンドウメニュー	114
	・重ねて表示	114
	<ul> <li>・並べて表示</li> </ul>	114
	・アイコンの整列	114
	・すべて閉じる	114
9	). ヘルプメニュー	114
	・目次(F1)	114
	・MusicScore PRO3 について(Alt + F1)	114
	・ホームページ	114

MusicScore PRO3 ショートカットキー一覧表	115
canMusic 操作説明	119
ScanMusic について	119
楽譜をデータ化する	120
操作手順	
ウィンドウ詳細	
メニューバー	124
●ファイルメニュー	125
新規作成	
楽譜ファイルの読み込み (Ctrl + O)	
楽譜ファイルを閉じる	
上書き保存 (Ctrl + S)	
名前を付けて保存	
イメージファイルを開く (Ctrl + I)	
●表示	
●イメージ	
●演奏	
●設定	
●ウィンドウ	
重ねて表示	
並べて表示	
アイコンの整列	
すべて閉じる	
●ヘルプ	
画像リスト	128
認識結果	128
認識元画像	128

:	製品のサポートについて	.145
:	索引	.132
	こんなときは	131
	認識可能記号	130
	ScanMusic ショートカットキー一覧表	129

# ◆MusicScore PRO3 の主な新機能◆

♪独自に音源を搭載し、高品位な音での再生が可能

- ♪WAV ファイルの書き出しに対応
- ♪数字譜の作成に対応
- ♪ファイルの試聴機能を追加
- ♪RCP ファイルの読み込みに対応
- ♪複数ページのスクロール表示に対応
- ♪背景画面やイラストデータの挿入機能を追加
- ♪ボイス別の歌詞入力に対応
- ♪自動コード入力機能を追加
- ♪ウクレレ用のフレットボードを表示可能
- ♪楽譜スキャニング機能を搭載
- ♪アイコンデザインを一新
- ♪テキストの縦書き入力が可能

# ◆MusicScore PRO3の準備◆

### ● MusicScore PRO3 の動作環境

- OS: Microsoft Windows10/8.1/7
- CPU: OS が正常に動作する性能の CPU
- メモリ: OS が正常に動作するメモリ容量
- ハードディスク: 150MB の空き容量
- 画面解像度: 1024×768以上
- 色: 中(16ビット)以上
- その他: スピーカーまたはヘッドホン、MIDIキーボード(※1)、マイク(※2)、スキャナー(※3) ※1:音符をリアルタイム入力する場合に必要です。 ※2:音程認識機能を用いた音符入力をする場合に必要です。 ※3:楽譜 OCR ソフト「ScanMusic」を使用する場合に必要です。

### ● MusicScore PRO3 のインストール

- 1. MusicScore PRO3 のインストール CD をパソコンにセットします。
- インストール CD の中にある「Setup」をダブルクリックするとインストールが始まります。
   以下の画面が表示されますので「次へ」をクリックしてインストールを進めて下さい。
   警告表示が出た場合は「続行」または「許可」をクリックして下さい。

Music Score Pro3 - InstallShield Wizard		
	Music Score Pro3 セットアップへようこそ このフログラムは、Music Score Pro3 センビューガニインストールします。こ のセットファン コロプラムを実行する前に、すべてのWindowsフログラムを終 了することを推奨します。	
< 戻る(B) 次へ (M)> 計2地		

3. 「同意します」を選択すると「次へ」がクリック可能になります。

使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みくだ	さい。	
ソフトウェア製品使用許諾書		
株式会社シルバースタージャパンは、お客様() ラム、データ、マニュアルおよびこの製品(こ含ま)	対し、下記の内容で当社が開発し れる全ての付属品)の使用を許諾い	たソフトウェア製品(ブログ たします。
1. 著作権 株式会社シルバースタージャパンは、本ソフト	ウェア製品の著作権を所有します。	
2. 使用許諾の範囲 お客様は本ソフトウェア製品を、お客様が保本 のみ使用することができます。 お客様の有する使用権は、非独占的もので?	すする1台のコンピュータ上で、お客材 あり、第三者に譲渡することはできま	€ご自身が使用する場合 せん。
<ul> <li>● 便用許諾契約の全条項(こ同意します(A)</li> <li>○ 使用許諾契約の条項(こ同意しません(<u>D</u>)</li> </ul>		ED扇(P)
stallShield	< 戻る(B) (次/	\ (N)> +•`/t/l

4. 必要な項目を入力して「次へ」をクリックします。

<b>tusic Score Pro3 - InstallShiel</b> ユーサ <sup>*</sup> 情報 情報を入力してください。	d Wizard	
ユーザ名、会社名、および製品のシリアルキ	番号を入力してから、D欠へ]ホなンをソリックしī	てください。
7#*冬(1))		
会社名( <u>C</u> ):		
シリアル番号( <u>S</u> ):		
		]
	< 戻る(B) ////	、(N)> キャンセル

5. インストール先を指定します。通常はこのまま「次へ」をクリックして下さい。

Music Score	Pro3 - InstallShield Wizard 🛛 🕅
<b>インストール先(</b> ファイルをイン	<b>の選択</b> ストールするフォルケを選択してください。
	Music Score Pro3 のインストール先 C&Program Files¥シリルバースタージャパンメ 東回〇
InstallShield —	< 戻る(B) (次へ (N)>) (キャンセル)

6. 「インストール」をクリックするとプログラム本体のインストールが始まります。

Music Score Pro3 - InstallShield Wizard	×
インストール準備の完了 インストールを開始する準備が整いました。	
[インストール]をクリックしてインストールを開始してください。	
インストール設定を確認さたは変更する場合は、「戻る」を効ック ます。	します。ウィザートを終了するには、[キャンセル]をソリーかし
InstaliShield	〈戻る(日) (1)ストール キャンセル

7. 「完了」をクリックするとインストールが終了しますので、パソコンより CD を取り出します。



8. デスクトップ画面に「MusicScore PRO3」のアイコンが表示されますので、このアイコンを ダブルクリックすることでプログラムを起動します。



MusicScore PRO3 のアンインストール

必ず以下の手順で操作を行ってください。

アンインストールには管理者(Administrators)権限が必要となります。管理者権限のあるユーザーでログインしてから作業を行ってください。

- 1. MusicScorePRO3 の製品 CD-ROM をパソコンに挿入します。
- 2. インストール作業の時と同じ方法で「setup.exe の実行」をクリックします。
- 3. 下の画面が表示されたら「はい」をクリックします。

Music Score Pro 3 - InstallShield W	izard	83
選択したアプリケーション、およびすべての	コンポーネントを完全に削除しますか	?
	はい(Y) しいいえ	( <u>N</u> )

4. 「アンインストール完了」の画面が表示されたら「完了」ボタンをクリックします。

Music Score Pro3 - InstallShield	Wizard
	<b>アンインストール完て</b> InstallShield Weard (I Music Score Pro3 のアンインストールを完了しま した。
	< 戻る(B) <b>完了</b> キャンセル

# ● MIDI 機器の接続

MusicScore PRO3 では、MIDI キーボードを用いたリアルタイム入力が可能です。以下に MIDI キーボードとパソコンとの接続図を示します。



MIDIキーボードの取り扱いについては、MIDIキーボードに付属のマニュアルをご覧下さい。 現在市場に流通しております MIDIキーボードの大半は「USB 接続方式」のものとなっておりま すが、一部の MIDIキーボードでは USB 端子を備えていないものもあります。 そうした製品とパソコンを接続する場合は「MIDIインターフェース」と呼ばれる機器が必要になり ます。MIDIキーボードをご購入される際には接続方法をご確認頂けますようお願いします。

MIDIキーボードがパソコンに認識されますと「MIDI入出力ポート設定」の「入力ポート」にて 接続した機器を選択可能になります。

### ● MIDI 環境設定

MusicScore PRO3 では独自に音源を搭載したことにより、より高品位な音色での演奏をお楽し みいただけます。また、WAV ファイルの書き出しにも対応しましたので。オリジナルの音楽 CD を手軽に作成することが可能です。(※)

(※)音楽 CD の作成に対応した CD ライティングソフトと CD-R ドライブが必要です。

この項目の詳しい解説は「MIDI入出力ポート設定」をご覧下さい。(99ページ)

 $\sim$ Memo $\sim$ 

▶画面解説◆

メインウィンドウ

●各部名称



メニューバー: 60 ページ 標準ツールバー: 21 ページ 入力ツールバーとパレット: 26 ページ コントロールパネル: 58 ページ ステータスバー: 57 ページ ▶ すぐに音符入力をお試しになる場合は「音符」をご覧下さい。(31 ページ) ●譜表の見方



※MusicScore シリーズでは、大譜表ひとつひとつを「ブロック」の単位で呼称します。

### ●譜面上での操作

下図の丸で示した部分にマウスポインタを合わせると、それぞれの場所に応じてポインタの形が 変化します。



<1、譜表の左端>

音部記号のすぐ左



この位置ではポインタが十字矢印に変化します。この状態でマウスをクリックした まま上下左右に動かしてブロックや譜表の位置を移動させることができます。 ポインタがこのように変化した状態をハンドルと呼びます。

二つ以上の譜表でブロックが構成されている場合、各ブロックの「第1譜表のハンドル」は、その ブロックを移動させる役割を持ちます。「第2譜表以降のハンドル」は、それぞれの譜表を移動さ せる役割を持ちます。

◆ブロックや譜表の間隔を一度に調整したい場合は「基本設定ウィンドウ」の「規格タブ」にて 調節が可能です。(規格タブ→108 ページ)

譜表のすぐ左



.

この位置ではポインタが右向きの矢印に変化します。この状態でマウスをクリッ クすることで、該当する譜表をブロック別に選択状態にすることができます。また、 ダブルクリックすることで全てのブロックにおいて譜表を選択状態にすることが できます。

### <2、小節線の上>



この位置では、左右矢印の形にポインタが変化します。 この状態でマウスをクリックしたまま左右に動かすことで、小節線の位置を変更 することができます

◆小節をダブルクリックすると、その小節を個別に選択状態にすることができます。 また「Shiftキー」を押しながら他の小節をダブルクリックすることで、複数の小節を 選択状態にすることができます。

### ●範囲選択

楽譜を編集する上で必須の操作になります。

「選択ボタン」が押された状態で譜面上をクリックしたままマウスを動かすと、点線で選択範囲が 表示されます。この範囲内に囲った音符や記号が選択状態に置かれます。選択状態にある音 符や記号などは青色で表示されます。



### ●右クリックメニュー

比較的よく使われると思われる操作を、右クリックで表示されるメニューにまとめました。 何も選択されていないときと、音符や記号の選択範囲内でクリックしたときとで表示される メニューの内容が異なります。

### 何も選択されていない状態で右クリック

✔ 選択(F2)	
消去(Shift+F2)	
入力(Ctrl+F2)	
カーソルの前の部分を一	括削除
カーソルの後の部分を一	括削除
貼り付け( <u>P</u> )	Ctrl+V
小節挿入( <u>A</u> )	Ctrl+W
小節削除(D)	
拍子変更( <u>T</u> )	Ctrl+F
調号変更( <u>K</u> )	Ctrl+K
譜表挿入( <u>S</u> )	Alt+D
譜表削除(E)	
譜表を隠す( <u>H</u> )	Ctrl+H
譜表の表示( <u>W</u> )	
ページ挿入( <u>G</u> )	Alt+T
ページ削除(Y)	
✓ 連桁の自動連結(B)	Alt+B
✓ 自動間隔調整(Z)	Alt+J
描き <mark>直し(</mark> <u>W</u> )	Ctrl+R
ハンドル( <u>C</u> )	Alt+C
✓ ルーラー( <u>R</u> )	
ページライン(P)	

選択範囲内で右クリック

音符属性変更(N)	Ctrl+I
サイズ変更( <u>F</u> )	Ctrl+Shift+C
臨時記号(E)	•
符尾の向き( <u>A</u> )	t.
タイ(I)	Ctrl+T
スラー( <u>S</u> )	Ctrl+L
連桁(B)	•
移調( <u>P</u> )	Ctrl+Shift+P
音価変更( <u>K</u> )	Ctrl+Shift+D
連符設定(L)	Ctrl+Shift+L
ベロシティー変更(⊻)	Ctrl+Shift+V
上の譜表に表示( <u>U</u> )	Ctrl+Alt+U
下の譜表に表示( <u>0</u> )	Ctrl+Alt+D
和音に変換( <u>H</u> )	Ctrl+Alt+C
装飾音に変換	•
切り取り(Z)	Ctrl+X
⊐ピ <u>−(C</u> )	Ctrl+C
貼り付け( <u>P</u> )	Ctrl+V
クリア( <u>D</u> )	Del

標準ツールバー

●ファイル編集ボタン



### 1. 新規作成(Ctrl+N)

MusicScore PRO3 においてデフォルトとして設定されている楽譜が新規に作成されます。 (2 譜表・5 ブロック・1 譜表あたり4 小節の楽譜をデフォルトとします)

### 2. 開く(Ctrl+O)

MusicScore シリーズで作成したファイルを展開します。

### 3. 上書き保存(Ctrl+S)

作成中の楽譜を同じ名前で保存します。上書き保存しようとする楽譜ファイルが まだ存在しない場合は「名前を付けて保存」ウィンドウが開きます。

### 4. 印刷(Ctrl+P)

作成した楽譜を印刷します。

- 5. 印刷プレビュー
   印刷プレビュー画面を開きます。
- 6. 切り取り(Ctrl+X)

選択状態にある音符や記号を切り取ります。

### 7. コピー(Ctrl+C)

選択状態にある音符や記号をコピーします。

### 8. 貼り付け(Ctrl+V)

切り取り、またはコピーしたデータを貼り付けます。 「設定」メニューの「自動間隔調整」がチェックされている場合はカレットの置かれた小節に 貼り付けが行われます。チェックされていないと、カレットのある位置を起点にして内容が 貼り付けられます。

### 9. 元に戻す(Ctrl+Z)

実行した操作を元の状態に戻します。Pro3 では最大 32 回分の操作をさかのぼることができます。

### 10. やり直し(Ctrl+Y)

「元に戻す」でさかのぼった操作を再実行します。

●ポインタボタン

K 🔗 🥒 🕀 🔍 100% 4 5 2 3 6

### 1. 選択ボタン(F2)

マウスポインタの機能を「選択ツール」に切り替えます。 譜面上におけるマウスポインタの形は「矢印」に変わります。音符や記号などの移動、範 囲選択、小節幅の移動や譜表位置の変更など、音符入力以外の様々な編集を行うため のボタンです。

### 2. 消去ボタン(Shift+F2)

マウスポインタの機能を「消去ツール」に切り替えます。 譜面上におけるマウスポインタの形が「消しゴム」に変わります。音符、記号、テキストを削 除するためのボタンです。 削除対象にポインタが重なると、消しゴムの形から丸十字の形に変わりますので、この状 態でマウスをクリックすることで削除ができます。

### ※消去ツールでは消せない記号もありますのでご注意ください。

### 3. 入力ボタン(Ctrl+F2)

マウスポインタの機能を「入力ツール」に切り替えます。 譜面上におけるマウスポインタの形が「鉛筆」に変わります。音符や記号などを入力する 際に使用します。このボタンは入力したい音符や記号をパレットから選択した時点で、自 動的に押された状態になります。

### 4. 楽譜移動ボタン

譜面上におけるマウスポインタが「手のひら」の形に変わります。 楽譜の表示位置を移動させる際に使用します。譜面上の任意の位置でマウスをクリックす ると、アイコンが「握った手の形」に変わりますので、クリックしたまま上下左右にマウスを動 かして表示位置を移動させることができます。また、譜面を演奏中は自動的にこのボタン が押された状態になります。

### 5. ズームボタン

譜面上におけるマウスポインタが「虫眼鏡」の形に変わります。 譜面をクリックするたびに、最大で 500%まで表示を拡大できます。また、Ctrl ボタンを押 しながら譜面をクリックすると最小50%まで縮小できます。拡大時は虫眼鏡の中に「+」、縮 小時は「-」が表示されます。

### 6. 表示倍率

ここに数値を入力することで、任意の倍率で譜面を表示できます。

●演奏ボタン



- 始めから演奏(Ctrl+Space)
   第1小節から演奏します。
- 2. **演奏(Space)**

カレット(小節上で点滅しているカーソル)が表示されている小節から演奏します。

### 3. 停止(Space)

演奏を停止します。再生と停止は「Spaceキー」を押すごとに切り替わります。

### 4. **録音(Enter)**

MIDIキーボードを用いたリアルタイム録音を開始します。 ※リアルタイム録音は MIDIキーボードを用いてのみ可能です。

### 5. オールノートオフ

演奏を停止しても発音が鳴り止まない場合に押します。演奏中はグレー表示になり 押すことができません。

### ●補助ウィンドウボタン

1. プレイコントロール(Ctrl+Shift+Enter)

演奏時の全体の音量、伴奏の音量、テンポを調整します。



・音量: 全体の音量を調整
 ・伴奏: 自動伴奏の音量を調整
 ・テンポ: 演奏時のテンポを調整
 ・ミュート: 音量を最小に設定
 ・リセット: テンポを初期値にリセット

### 2. **譜表設定(Shift+F6)**

譜表ごとの MIDI チャンネルや楽器、音量を設定します。

<b>1</b>	表設定	Ĕ								×
	番号	譜表名	演奏	- VD	トランスポーズ	チャンネル	楽器名	音量	ーパン	
	1	請表 1			None	1	1:Grand Piano(GM)	127		
	2	譜表 2			None	2	1:Grand Piano(GM)	127		-
										V

### ·番号

譜表の並び順を表示します。 番号をマウスで上下にドラッグして譜表の順番を変更できます。

### ·譜表名

ここに入力した譜表名は、楽譜上に反映されます。

### ・演奏

通常はすべての譜表にマークが付いていますが、このマークをクリックして解除することで該当 する譜表を演奏しないように設定できます。「演奏」の項目部分をクリックすると、すべての譜表 に対して一度にマークを設定できます。

				- をクリツ	クして	すべての譜表	の演奏	夏正を変更可能	
請表設	定	1	9.						X
番号	請表名	演奏	וםע	トランスポーズ	チャンネル	/ 楽器名	音量	ーパン	1
1	請表 1			None	1	1:Grand Piano(GM)	127 -		•
2	譜表 2			None	2	1:Grand Piano(GM)	127 🕳		-
	409 - C	200.20	59 - 38 <u>3</u>	18 -	58	53.	514 - 343		V

ここをクリックしてすべての譜表の演奏設定を変更可能

### ・ソロ

特定の譜表のみを演奏させたい場合は、該当する譜表にソロマークを入れます。 「ソロ」の項目部分をクリックすると、すべての譜表に対して一度にマークを設定できます。

-	表設定	I		1						×
	番号	譜表名	演奏	УP	トランスポーズ	チャンネル	楽器名	音量	ーパン	
	1	譜表 1	⊳		None	1	1:Grand Piano(GM)	127 🕳	c	-
	2	請表 2			None	2	1:Grand Piano(GM)	127 🕳		-

### 」ここをクリックしてすべての譜表のソロ設定を変更可能

### ・トランポーズ

トランポーズウィンドウが表示され、譜表ごとに移調の設定が できます。ここでの移調は演奏のみに反映されます。

※音符を移調して表示したい場合は、音符メニューの 「移調」もしくは小節メニューの「調号変更」を使用します。 (移調→78ページ)(調号変更→87ページ)

### ・チャンネル

譜表ごとの MIDI チャンネルを設定します。譜表を増やした際には、他の譜表と 重複しないチャンネルが自動で割り振られます。原則として、ひとつのチャンネ ルにつきひとつの楽器を割り当てます。

※異なる楽器が同一のチャンネルに割り振られた場合は、正常な演奏が できなくなりますのでご注意下さい。

### ・楽器名

楽器設定ウィンドウが表示されます。リストより楽器名をクリックすることで音色を選択します。

### ·音量

スライダーを動かすことで譜表ごとの音量が調節できます。

・パン

スライダーを動かすことで譜表ごとに楽器の定位が設定できます。

トランスポーズ	
⊙上へϢ	<u>〇下へ(D)</u>
─移調量──	
0 📚 + 0	) 🞅 オクターブ
半音単位でトラン	レスポーズします。
ΟΚ	(キャンセル(C))



## 入力ツールバー

楽譜に入力する音符や記号、その他各種ツールボタンが入っています。入力ツールバーは MusicScore PRO3の起動時にメインウィンドウに表示されています。

# 🕤 🔮 🖌 祥 🕂 🏦 🛪 TAB 🛛 🖒 🎟 T 🖬 🗚 🗛 💵 🖙 🐼 🐨 Exp 🖇 🦠

# 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

# 1. ラッチボタン 🖠

このボタンを押すことで、入力パレットをひとつずつ画面に表示できます。

2. 音部記号(F3) 🗳

音部記号パレットを表示します。

### <音部記号の変更方法>

モダン・ピッコロ 8vaバッサ **2:**  ドラム譜 タブ譜 TAB **N** 数字譜

ト音記号 (高音部) 👌 🍞 へ音記号 (低音部)

八音記号(中音部) 18 18 八音記号(中音部)

- 1. パレットから音部記号を選択。
- 2. 楽譜上の変更したい音部記号、または入力したい小節内でマウスをクリック。

### ※ドラム譜、タブ譜、数字譜は1小節目以外には設定できません。

楽譜冒頭の音部記号は「譜表属性」でも変更できます。(譜表属性→93 ページ) また、ひとつの小節に同時に2種類の音部記号を入力することはできません。

### <ドラム譜の設定方法>

- 1. パレットからドラム譜記号を選択します。
- 2. ドラム譜に設定したい譜表の第1小節目の音部記号にマウスポインタを重ねて クリックします。
- 3. 「ドラムマップウィンドウ」が表示されますので、このウィンドウでドラム譜の細かな設 定を行います。OK ボタンを押すと該当する譜表がドラム譜に設定されます。





例として上の図に示したようなドラム譜の作り方を説明します。

①「ドラム譜の設定方法」の手順2までを行い、ドラムマップウィンドウを表示します。

- ②「Acoustic Bass Drum」の横にあるチェックボックスにチェックを入れます。
- ③五線譜上のどの音程に Acoustic Bass Drum の音を割り振るかを設定します。「位置」ウィンド ウ右側のスクロールバーで割り振る音程を変更できます。ここでは下図と同じ位置に設定して ください。

名前	Ľ	1		音符の種類(T)
🔲 Square Click	G#1	32		• •
Metronome Click	A1	33		
Metronomo Bell	A#1	34		
🔽 Acoustic Bass Drum	81	35		
Bass Drum	C2	36		
Rim Shot(Side Stick)	C#2	37		
🔽 Snare Drum	D2	38		×
Hand Clap	D#2	39		ママウス入力時に使用作
Electric Snare	F2	40	~	

④続いて「Snea Drum」の設定を行います。Acoustic Bass Drum と同じ要領で行ってください。

名前	Ľ	1.		音符の種類(1)
🔽 Acoustic Bass Drum	B1	35		
🗹 Bass Drum	C2	36		位置(P)
Rim Shot(Side Stick)	C#2	37		►
🔽 Snare Drum	D2	38		
Hand Clap	D#2	39		(Ⅲ(Ⅲ
Electric Snare	E2	40		
🔽 Low Floor Tom	F2	41		×
🔽 Closed Hi-Hat	F#2	42		マウス入力時に使用(F)
High Floor Tom	G2	43	~	

⑤最後に「Closed Hi-Hat」の設定をします。ここでは「音符の種類」を「×」に設定します。

名前	Ľ	1.		音符の種類の
Hand Clap	D#2	39		X X
Electric Snare	E2	40		
V Low Fleer Tom	F2	41		
✓ Closed Hi-Hat	<b>F#</b> 2	42		
High Floor Tom	G2	43		
Foot Hi-Hat	G#2	44		
V Low Tom	A2	45		*
🔽 Open Hi-Hat	A#2	46		▼マウス入力時に使用(F)
I Low-Mid Tom	B2	47	~	

⑥すべての設定が完了したら「OK」をクリックします。

⑦ドラム譜に音符を入力します。まず「Closed Hi-Hat」を入力しますが、入力の前に 「ボイス設定ボタン」をクリックして「ボイス2」を選択しておきます。(下図参照)



※ボイス機能については後ほど詳しく解説します。

(譜表設定-ボイス→104ページ) (ボイスごとの音符入力→58ページ)

次に音符パレットから8分音符を選択して、下図の位置に入力します。



⑧続けて下図の位置を参考にして「Snea Drum」を入力します。



⑨ここでボイス設定ボタンをクリックして「ボイス3」を選択します。

⑩下図の位置を参考にして「Acoustic Bass Drum」を入力します。



4分音符と4分休符を交互に入力します。

①すべての入力が完了したらボイス設定ボタンをクリックして「すべて」を選択します。 この状態で再生ボタンをクリックすると入力した音符が演奏されます。

### <タブ譜の設定方法>

・既存の譜表をタブ譜にする場合

- 1. 音部記号パレットからタブ譜記号を選択します。
- 2. タブ譜に設定したい譜表の第1小節目の音部記号にマウスポインタを重ねてクリック します。
- 3. 「タブ 譜設定ウィンドウ」が表示されるので、線の数と間隔を設定して「OK」をクリック します。

タブ譜設定				×
譜表の線の数	:	6		<u>O</u> K
譜表の線間の間隔	:	100	%	キャンセル©
注:タブ譜の線間の  譜表の線間の間隔の	間隔の	の単位 分率に	は一般 する。	~ルゴ(王)

※タブ譜に入力した音符は演奏されません。

・新規にタブ譜表を追加する場合

- 1. 楽譜メニューより「譜表挿入」をクリックして「譜表挿入ウィンドウ」を表示します。
- 「iii表の種類」で「タブiii」を選択します。次に「設定」ボタンをクリックしてタブiiiの設定 をします。
- 3. 挿入位置を確認してから「OK」をクリックすると新規にタブ譜が挿入されます。

### §タブ譜への入力について

 音符パレットから入力したい音符を選択してタブ譜に入力します。この時点では譜面には 「数字0」で入力されます。



2. 次に入力ツールバーからタブ譜ボタンをクリックして、タブ譜入力パレットを表示します。



 表示されたパレットから必要な数字ボタンを選択して、先ほど入力した音符の「0」部分に マウスポインタを合わせてクリックします。



<数字譜の設定方法>

・既存の譜表を数字譜に変換する場合

### ※(ドラム譜、リズム譜、タブ譜は数字譜に変換できません)

- 1. 音部記号パレットから数字譜記号を選択します。
- 数字譜に設定したい譜表の第1小節目の音部記号にマウスポインタを重ねてクリックします。
- 新規に数字譜表を追加する場合
  - 1. 楽譜メニューより「譜表挿入」をクリックして「譜表挿入ウィンドウ」を表示します。
  - 2. 「譜表の種類」で「数字譜」を選択します。
  - 3. 挿入位置を確認してから「OK」をクリックすると新規に数字譜が挿入されます。

### §数字譜への入力について

1. 入力ツールバーから数字譜ボタンをクリックして、数字譜入力パレットを表示します。



2. パレットから必要な数字、または記号を選択して譜面に入力します。

数字譜パレットについての詳しい解説 ⇒ 43 ページ 数字譜の規格設定 ⇒ 111 ページ

### 3. 音符(F4)

音符パレットを表示します。

<入力方法>

音符・休符

入力したい音符・休符のボタンを押した後に、譜面上でマウス をクリックします。

入力した音符や休符にマウスポインタを合わせると、ポインタの 形が十字の矢印に変わります。この状態でマウスをクリックした ままドラッグすることで、音符を移動させることが可能です。また 「Ctrlキー」を押しながら操作すると音符のコピーが可能です。 (和音を入力する際にはこの方法を使うと便利です。)

入力した音符を削除するときには「消去ボタン」を押した後 削除したい音符にマウスポインタを重ねてクリックします。

▶ 音符の移動について

音符の移動範囲は、その音符が入力されている小節内のみに限られますが以下の方法を使う と小節を越えての移動も可能です。

- 1. 選択ツールを使用して、選択範囲内に対象の音符を囲みます。
- 範囲内の音符が青色になりますので、青くなった部分をクリックしたまま目的の小節まで ドラッグします。



<sup>「</sup>Ctrl キー」を押しながらドラッグするとコピーできます。

# 連符 🚠 3:2

- 1. 入力パレットから連符にしたい音符を選択し、続けて連譜入力ボタンを押します。
- 2. この状態で譜面上をクリックすると、三連符が入力できます。
- 3. 連符の種類や形態を変更するには**連符設定ボタン**を押して「連符設定」ウィンドウを表示 します。

重符設定	
→連符の種類(1)	
⊙標準(S)	3連符 💌
○その他(N)	3 💠 : 2 🗢
接続形状( <u>T</u> ):	*
2番目の数字	*表示( <u>P</u> )
<u>O</u> K ++	ンセル(C) ヘルプ(H)

▶ 2番目の数字を表示

この項目にチェックを入れることで「入力した連符がその連符を構成する音符の何拍分の長さ になっているか」を表示することができます。表示としては下図のようになります。



「この3連符の長さ = 8分音符ふたつ分」の意味になります。

・既に入力してある音符を連符にする場合

- 1. 連符にしたい音符を選択ツールで囲みます。
- 2. マウスを右クリックして表示されるメニューより、「連符設定」を選択します。
- 3. 「連符設定」ダイアログボックスが表示されるので、必要な項目を設定して「OK」をクリック します。

### 臨時記号

入力パレットで必要な臨時記号をクリックすると、マウスポインタに選択した臨時記号 が表示されます。この状態でマウスポインタを音符の符頭に合わせてクリックすると 臨時記号が入力されます。





臨時記号ボタンに続けて「カッコ」ボタンを押すと、カッコ付きの臨時記号が入力できます。

### 装飾音符 🌗 🌶

- 入力パレットから装飾音符にしたい音符を選択し、次に装飾音符ボタンを押します。
- 2. 譜面上の入力したい位置でマウスをクリックします。

長前打音と短前打音がありますが、短前打音表記は8分音符に対してのみ有効になります。 また装飾音符は元になった音符の長さにかかわらず、一定の長さで発音されます。

### ▶ パソコンのキーボードによる音符入力

- 1. 入力ボタン(Ctrl+F2)を押します。
- 2. 入力したい音符に対応した数字キーを押します。
- 3. 入力したい音程のキーを押すと音符が入力されます。

### ※キーボードで入力する際は「日本語入力」が無効になっていることを確認してください。 日本語入力のオン・オフは「半角/全角」キーで切り替えます。

◆ 音符を範囲選択で囲った状態で「、」キーを押すと、相当する長さの休符に変更できます。 キーを押すたびに音符と休符が切り替わります。



キーボード対応表



網掛けしてある記号は「Shift キー」を押しながら入力します。

+	1回押すとシャープ、2回押すとダブルシャープ
-	1回押すとフラット、2回押すとダブルフラット
矢印キー	カーソルの位置を移動
CTRL+PageUp	前のページへ移動
CTRL+PageDown	後のページへ移動
Tab	カーソルの位置を次の小節へ移動
Shift+Tab	カーソルの位置を前の小節へ移動
Shift+英字キー	シャープの付いた状態で音符を入力
Caps Lockした状態でShift+英字キー	フラットの付いた状態で音符を入力
Caps Lockした状態で英字キー	ナチュラルの付いた状態で音符を入力
Home	現在ページの最初の小節にカーソルを移動
Ctrl+Home	楽譜の最初の小節にカーソルを移動
End	現在ページの最後の小節にカーソルを移動
Ctrl+End	楽譜の最後の小節にカーソルを移動
Delete	範囲選択で囲まれた音符を消去
Page Up	現在のページをスクロールアップ
Page Down	現在のページをスクロールダウン
[	キーボードの音階を1オクターブ下げる
]	キーボードの音階を1オクターブ上げる

### <MIDI キーボードによる音符入力>

### ・ステップ入力

パソコンのキーボードを用いて音符入力を行う場合と同様に、MIDIキーボードにてひとつずつ音符を入力する方法です。

- 1. 「設定」メニューの「MIDI入出力ポート設定」にて、接続している MIDI キーボードが 「入力ポート」に表示されているかを確認します。(MIDI入出力ポート設定→99ページ)
- 2. 「入力」ボタンを押します。
- 入力したい音符ボタンをクリック、またはその音符に該当する数字キーを押します。
- 4. MIDI キーボードを演奏します。

### ・リアルタイム入力

レコーダーに録音するのと同じ要領で、演奏データを記録していきます。

- 1. 「設定」メニューの「MIDI入出力ポート設定」にて、接続している MIDI キーボードが 「入力ポート」に表示されているかを確認します。
- 2. 「設定」メニューの「MIDIファイル読み込み/録音設定」にて、録音のための記譜クオン タイズ値を設定します。(MIDIファイル読み込み/録音設定→101ページ)
- 3. 「設定」メニューの「録音時メトロノーム音出し」にチェックを入れます。
- 「録音」ボタン、または「Enter」キーを押すと、メトロノームが4カウント鳴った後に録音が スタートします。
- ◆「録音時メトロノーム音出し」にチェックが入っていないと、「録音」ボタンが押されると同時に 録音が始まってしまいますので、ご注意ください。

### 【注意】

### 既に音符が入力されている小節に録音すると、それらの音符は上書きされます。

◆「Microsoft GS Wavetable(SW)Synth」を使用する場合、鍵盤を押してから音が鳴るまでに 若干の遅れが生じます。
# 4. アーティキュレーション(F5)

アーティキュレーションパレットを表示します。

### <入力方法>

入力したいアーティキュレーション記号をパレットより選択し、記号を付け たい音符の「符頭」にマウスポインタを合わせてクリックします。

- ※1 Ctrlを押しながら入力を行うと、音符の下に記号を付けられます。
- ※2 丸で囲った記号は譜面上の自由な位置に入力できます。 四角で囲った記号は、演奏には反映されません。 また、丸で囲んである「V」記号(ブレス)は、音符に対して入力した 場合は「アクセント記号」として機能します。

### ・ 複数の音符に同時に記号を付加するには

- 1. 選択ボタンをクリックします。
- 2. アーティキュレーション記号を付けたい音符を選択範囲内に囲み ます。
- アーティキュレーションパレットより必要な記号をクリックすると選択された音符にまとめて 記号が入力されます。

### アルペジオの表記

パレットよりアルペジオ記号を選択し、アルペジオを付けたい位置でマウスをクリックしたまま 必要な長さまでドラッグします。

#### グリッサンドの表記

アルペジオと同様の入力方法になります。 この記号には直線と波線の2種類ありますが、直線の場合は「gliss.」の 表記が入ります。

# 5. オーナメント(F6) 🏹

オーナメントパレットを表示します。

入力方法はアーティキュレーションと同じです。 枠で囲ってある記号は演奏に反映されません。



0

# 6. 強弱記号(F7) 7

強弱記号パレットを表示します。

パレットより記号を選択した後、譜面上の任意の場所でマウスをクリックすると入力されます。

▶ 強弱記号は、新たな強弱記号が入力されるまでが有効範囲となります。

### ・クレッシェンド・デクレッシェンドの入力

クレッシェンドボタンを押します。 譜面上の記号を入力したい部分でマウスをクリックしたままドラッグします。 横方向にドラッグして長さを、縦方向にドラッグして角度を調節します。 また、右方向にドラッグするとクレッシェンド、左方向にドラッグすると デクレッシェンドになります。

選択ツールに切り替えてクレッシェンドの先端部分にマウスポインタを合わせると ポインタの形が変わります。ここでクリックしたままマウスを動かすと、クレッシェンドの角度を 変更できます。それ以外の部分をクリックすることで、位置の移動が可能です。



「基本設定」の「演奏シート」(109 ページ)で、強弱記号効果の有効・無効を選択できます。

# 7. 繰り返し記号(F8)

繰り返し記号パレットを表示します。

パレットから記号を選択して必要な小節、または変更したい小節線の近くでマウスをクリックする ことで入力できます。

「標準線」:標準的な小節線を設定します。 「二重線」:小節線を二重線に設定します。 「終止線」:小節線を終止線に設定します。 「点線」:小節線を点線に設定します。 「小節線なし」:小節線を隠します。



mp pp

ff ff

sfz sf≇ f⊅ fz

sf sfp

<

「エンディング」: エンディング(繰り返し括弧)を設定します。

- 「1小節繰返し」:前の1小節分を繰り返す記号を入力します。
- 「2小節繰返し」:前の2小節分を繰り返す記号を入力します。
- 「リピート線」: "リピート線/始"に設定された小節から"リピート線/終"に設定された小節までを 1回繰り返して演奏します。"リピート線/始"に設定された小節が無い場合は 1小節目から繰り返します。

「繰返し記号」:「ダ・カーポ」や「ダル・セーニョ」などを入力します。このボタンを押して楽譜内 をクリックすると「繰り返し記号ウィンドウ」が表示されます。

### <エンディング(繰り返し括弧)の設定>

次のような譜面の作り方を例にとって説明します。



まず「1括弧」の付け方ですが、以下のように設定して OK をクリックします。

エンディング	E
~小節範囲	
5 🕞 から(E) 6 😒 🗏 まで(T)	>
<ul> <li>✓1括弧</li> <li>□2括弧</li> <li>□3括弧</li> </ul>	
	8括弧
表示文字⊗: 1.	
括弧終了形状(E):	
QK (キャンセル©) /	ヽルプ(世)

次に「2括弧」を設定します。

「表示文字」欄には選択した括弧に対応した 数字が自動的に入ります。 必要に応じて変更することも可能です。

ロンディング
小節範囲
7 😓 から(E) 7 😓 🗷 まで(T)
□1括弧   2括弧   3括弧   4括弧
□ <u>5</u> 括弧 <u>5</u> 括弧 <u>7</u> 括弧 <u>8</u> 括弧
表示文字(2): 2.
括弧終了形状(E):

### <繰返し記号(D.C./D.S.)の設定>

「エンディングの設定」にて作成した譜面を元にして設定方法を説明します。



この楽譜で使用している「D.C al Fine」は『楽譜の先頭まで戻った後、そこから Fine までを演奏 する』という記号になります。



- 「繰り返し記号」ツールを選択し、2小節 目の終わりの部分をクリックします。
- 表示されたウィンドウより「Fine」を選択して「OK」をクリックします。
- 続けて8小節目の終わりの部分をクリック して、今度は「D.C al Fine」を選択して 「OK」をクリックします。

▶ 入力した記号の位置を調整する時は「選択ツール」を使用します。

・この楽譜は「1→2→3→4→5→6→1→2→3→4→7→8→1→2」の順で演奏されます。

## 8. ツールボックス(F9) 🔉

ツールボックスパレットを表示します。

### <タイを入力するには>

- 1. パレットから「タイ」ボタンを選択します。
- 2. タイで結びたい音符同士の初めの音符をクリックします。
- 3. クリックした音符とすぐ後ろの音符がタイで連結されます。



### <スラーを入力するには>

- 1. パレットから「スラー」ボタンを選択します。
- スラーで結びたい最初の音符と最後の音符を順番にクリックします。
- 3. クリックした音符同士がスラーで繋がります。



タイ、スラーの位置の移動や、弧の曲がり具合を変 更するときは「ハンドル」を表示させると便利です。 (74 ページ)

### <オクターブ記号を入力するには>

この記号は特定部分の音符を譜面上に表示された状態より1オクターブ上、または下にずらして演奏させるときに利用します。「8va」は1オクターブ上に、「8vb」は下にずらします。

- 1. パレットから「オクターブ/始」ボタンを選択します。
- 2. 開始小節の上、または下でマウスをクリックします。
- 「オクターブ/終」ボタンを選択し、終了小節の上または下でマウスをクリックしたまま動かします。縦方向、横方向で破線が自由に伸縮するので、適当な位置でマウスを放します。



上図の丸囲みした部分を選択ツールでクリックしながら動かすことで、破線の移動、及び長さの 変更を行うことができます。破線で終了位置を指定しない場合、オクターブ記号が設定された 部分以降の音符は、すべてオクターブのずれた状態で演奏されます。

タイ **J** J スラー オクターブ上/始 8 2 オクターブ上/終 オクターブ下/始 8 2 オクターブ下/終 フルペダル **ノ** い ハーフペダル

MIDIイベント MDI

### <フルペダル記号、ハーフペダル記号の入力>

- 1. パレットよりこれらのツールボタンを選択します。
- 2. 入力したい位置でマウスをクリックしたまま動かすと、記号が入力されます。
- 記号の丸で囲った部分を選択ツールでドラッグすると、記号の長さやペダル・マークの位置を変更することができます。



#### <MIDI イベント>

MIDI イベントは「モジュレーション、パン、リバーブ」などの演奏効果と、譜表の途中で楽器 音色を変更する場合に利用します。

パレットより「MIDIイベント」ボタンを選択し、入力したい位置でマウスをクリックすると「MIDI イベント挿入」ウィンドウが表示されます。

MIDIイベント	私			
⊙演奏効果	7	参照	值 1	
○楽器音色		参照		
<u>K</u>	<u>キャンセル</u>		ヘルプ(	Ð

- ・演奏効果:テキストボックスに演奏効果番号を入力するか、「参照」ボタンをクリックして「演奏 効果リスト」より演奏効果を選択します。「値」に入力する数値で、演奏効果の掛か り具合を調整します。数値は最小が「0」、最大が「127」です。
- ・楽器音色:テキストボックスに楽器音色番号を入力するか、「参照」ボタンをクリックして「楽器 設定」リストより音色を選択します。

以下にMIDIイベントの入力例を解説します。



※「表示メニュー」内の「MIDIイベント」にチェックを入れておいて下さい。

図のような楽譜の2小節目と3小節目にMIDIイベント(例としてモジュレーション効果の設定と音 色を Reed Organ への変更)を入力します。

(モジュレーション・・・ 音程を細かく上下させることでビブラートのような効果を付加します。)

- ツールボックスパレットより「MIDIイベント」ボタンを選択し、MIDIイベントを入力したい 小節(3小節目)の上部分をクリックします。
- 「MIDI イベント挿入」ウィンドウが表示されるので、「演奏効果」にチェックを入れて「参照」 ボタンをクリックします。
- 「演奏効果リスト」より「Modulation」を選択し「OK」 を押します。
- 「値」の欄に任意の数値を入力します。
   今回ははっきりとした効果を出すために大きめの 数字(100)を入力します。

陵刈果リ人		
	番号	2
Modulation Breath ctrl		
Foot ctrl		

5. 入力し終えたら「OK」をクリックすることで、演奏効果が設定されます。



- 次に楽器音色を設定します。
   MIDI イベントボタンを選択したら、1譜表目の第2小節でマウスをクリックして「MIDI イベント挿入」ウィンドウを表示します。
- 7. 「楽器音色」にチェックを入れた後、「参照」ボタンをクリックします。
- 8. 「楽器設定」リストが表示されるので、「Reed Organ」を選択して「OK」をクリックします。
- 9. 楽器音色番号が変更されたことを確認して再度「OK」ボタンをクリックすることで、楽器 音色が設定されます。



この状態で再生すると、音色が2小節目より「Reed organ」に変更されます。 3小節目からは「モジュレーション」効果を伴った演奏が再現されます。

演奏効果は一度入力すると、新たな数値が入力されるまでずっとその効果を保ち続けます。 例えば今回の譜例を一度再生すると、二回目に再生したときには冒頭からモジュレーション 効果が掛かった状態で演奏されます。3小節目以降にのみモジュレーション効果を掛けたい 場合は1小節目の頭に、**値を「0」に設定**したモジュレーション効果を挿入してください。

9.	タブ譜入力パレット(F10) <sup>TAB</sup>	0	1	
	タブ譜用の数値入力パレットを表示します。	2 4	3 5	
<タ	ブ譜への入力手順>	6 8	7 9	
1.	タブ譜表を用意します。(タブ譜の設定→29 ページ)	10	11	
2.	音符パレットより任意の音符を選択し、タブ譜に入力します。	12	13	
3.	このとき符頭は「0」で表示されます。	14	17	
4.	「タブ譜」入力パレットより、入力したい数字ボタンをマウスで選択します。	18	19	
5.	入力済みの音符の「0」部分にマウスポインタを重ねてクリックすると 選んだ数字に置き換わります。	20 22	21 23 25	
		44	40	

# 10. 数字譜パレット

数字譜用の入力パレットです。

	ド	1	2	$\lor$
く数字譜への人刀手順>	Ξ	3	4	ファ
1. 数字譜表を用意します。(数字譜の設定→30 ページ)	ソ	5	6	5
2. パレットから数字、音符、オクターブを順番に選択して	シ	7	0	休符
数字譜に入力します。	符点	ŀ	1-	複付点
	全音符			符点2分音符
数字譜にも#やりを入力することができます。	2分音符	—	1	4分音符
音符入力パレットより必要な記号を選択してから	8分音符	1	1	16分音符
記号を付加したい数子をマワスでクリックします。	32分音符	1		
数字譜表とその他の譜表け相互変換(※)できます	2枕9-7"上	Ŧ	1	1初9-7"上
(※ドラム譜、リズム譜、タブ譜を除きます)	中心物外丁	1	1	1初9-7下
例えば通常の五線譜にメロディを入力しておいて	2オクターブ下	1		
後からその譜表の音部記号を数字譜に変えるだけで数字譜表を	完成させる	こと	七可	「能です。

数字譜はその性質上、和音を表現することができません。和音のある五線譜を数字譜に変換した場合、その和音を構成する最も低い音が数字譜面上に表記されます。 (和音の情報は保持されていますので、演奏の際には和音で鳴ります)

数字譜表にカレットがある状態では、テンキーを使用して入力を行うことができます。 通常の五線譜では数字キーで音符を切り替えますが、数字譜ではそのまま音程に割り当て られます。

### 数字譜テンキー対応表

数字キーの「1~7」が「ド~シ」に対応します。 「0」で休符が入力できます。 「/」と「\*」で音符の切り替えが可能です。

オクターブは「-」と「+」で切り替えます。



# 11. 図形パレット(F11)<sup>1</sup>

図形入力パレットを表示します。

直線、円、曲線などの図形を描画することが可能です。

### <図形の描画手順>

1. 描画したい図形に対応したボタンを押します

- 2. 「線の太さ」で図形を入力する際の線の太さを選択します。
- 3. 譜面上でマウスをクリックしたままドラッグすると図形を描画できます。

「ハンドルを常に表示」にチェックを入れると、図形にハンドルが表示されます。 このハンドルをマウスでクリックしたまま動かすことで、大きさや形を変化させることができます。 ハンドル以外の部分をクリックすると、図形を移動できます。





### 12. カラーパレット(F12)

カラーパレットを表示します。

### <音符・記号を指定した色で入力するには>

- 1. 各パレットより入力したい音符・記号を選択します。
- 2. カラーパレットより色を選んでから譜面に入力します。

※ 別の音符や記号が選択される度に、カラーは初期状態(黒色)に設定されます。

#### <入力済みの音符、および記号のカラーを変更するには>

- 1. 選択ツールで対象の音符・記号を囲みます。
- 2. カラーパレットより色を選択します。

※カスタムシンボルの色は変更できません。

(関連項目: 基本設定-カラー→105ページ)

# 13. 小節テキストT

譜面上に小節所属テキストを入力するためのボタンです。

- 1. 「小節テキスト」ボタンを押して、テキストを入力したい小節付近でマウスをクリックします。
- 2. テキスト入力枠が表示されます。(同時に書式バーが有効になります。)
- 3. 書式バーよりフォント、フォントサイズなどを指定してテキストを入力します。
- 4. 選択ボタンやその他の入力パレットのボタンを押すことで、テキスト入力が確定します。

入力したテキストの移動には選択ボタンを使用して下さい。 削除する際には消去ボタンを使用します。



入力したテキストは、最も近くにある小節に属します。 そのため該当する小節の削除や移動、貼り付けを実行すると 小節テキストもそれに追従します。

# 14. ページテキスト(Ctrl + Alt + W) I

譜面上にページ所属テキストを入力するためのボタンです。

- 入力ツールバーでページテキストボタンを選択して、テキストを入力したい位置でマウスを クリックします。
- 2. 書式バーと一緒にテキスト入力枠が表示されます。
- 3. 書式バーよりフォント、フォントサイズなどを指定してテキストを入力します。
- 4. 選択ボタンやその他の入力パレットのボタンを押すことで、テキスト入力が確定します。

### 入力したテキストはページに属します。そのためページを削除するとページテキストも 一緒に削除されます。

演奏上の指示などは小節テキストを使用し、タイトルや作曲者名などはページテキストで 入力すると良いでしょう。

### 15. 歌詞(Ctrl + Alt + E) A

入力した音符に対して歌詞を付けることができます。

### <歌詞を入力するには>

1. 「歌詞ボタン」を押すと譜表の左側に「ガイド」が表示され、同時に書式バーが有効になり ます。

(ガイドが表示されない場合は、音符の入力された小節をクリックして下さい。)



- 2. 書式バーより歌詞のフォントを選択します。
- 歌詞を入力したい音符の符頭をクリックすると、その音符の下にカーソルが点滅します。
- 4. この状態で歌詞が入力可能です。半角英数字入力の場合は「Space」キーを押すごとに 次の音符の下にカーソルが移動します。全角入力の場合は「Enter」キーで入力を確定し た後、もう一度「Enter」キーを押すと次の音符にカーソルが移ります。

2節目以降の歌詞を入力するには、楽譜の左側 に薄いグレーで表示されているハンドルを、第1 節ハンドルの下にドラッグします。

この操作を繰り返すことで、最大で8節までの歌 詞を入力することができます。また、各節のハンド ルを上下に動かすことで歌詞の縦位置を調整で きます。

歌詞を節ごと削除するには、該当する節の歌詞 ハンドルを薄いグレーのハンドル部分までドラッグ します。

削除を確認するメッセージが表示されますので 「はい」を押すと削除されます。





### 16. 歌詞の編集A

専用のウィンドウを用いて、節とボイスごとに歌詞を入力することができます。 ワープロ感覚で歌詞入力が行えることが、この機能の利点です。

### •譜表:

歌詞を入力する譜表を選択します。

#### ・フォント名:

歌詞のフォントを設定します。

#### ・サイズ:

歌詞のフォントサイズを設定します。

### ・スタイル:

歌詞フォントのスタイルを設定します。

### ·1節-8節:

8節までの歌詞をボイスごとに編集できます。

上図のように一文字ずつスペースで区切って入力することで、音符のひとつずつに対して歌詞 を割り当てることができます。(休符も音符ひとつ分とします)

▶「歌詞の編集」ウィンドウで入力した歌詞は、常に譜表の最初の音符から割り当てられます。

歌詞の編集 🛛 🛛 🔀
請表: 《請表1)
フォント名心: MS Pゴシック 💌 サイズ⑤: 10 💌 🖪 🛛 🖳
1節 2節 3節 4節 5節 6節 7節 8節
ボイス ①1 〇2 〇3 〇4 〇5 〇6 〇7 〇8
どうしても〜 I can't stop
OK(Q) (キャンセル(Q) ヘルブ(H) 適用(A)

# 17. テンポ設定(Ctrl + Alt + R)

譜面上にテンポ記号を入力できます。

このボタンを押した後、テンポ記号を入力したい場所 でマウスをクリックするとテンポ設定ウィンドウが表示さ れます。

### ・プレイバック

1分間に何拍の速さで再生するかを指定します。

#### ・表示

テンポテキストとメトロノーム記号の表示/非表示を選択できます。

### ・テンポテキスト

チェックボックスをオンにすると、リストから速度標語を選択できます。

「テキストフォント」をクリックしてフォントの変更ができます。

速度標語と実際のテンポは関連付けられていないので、あくまで表示したい標語を選ぶまでに 留まります。

#### ・メトロノーム

テンポ値を表示します。「メトロノームフォント」をクリックして数字部分のフォントを変更できます。

 テンポ設定ウィンドウの OK ボタンはテンポテキスト、またはメトロノームのどちらかに チェックが入っていないと押すことができません。

### ・リタルダント設定

リタルダントとアッチェレランドの設定をします。

プレイバック欄に入力したテンポ値から指定したパーセントで徐々にテンポ変更を加えます。 50~200%まで設定できます。

※100%の状態では、リタルダント設定は適用されません。

小節範囲では、リタルダント設定を適用する小節を指定します。

例えば、6小節目付近でマウスをクリックしてウィンドウを開いた場合、この欄には「6」と表示されています。この値を変更せずにOKをクリックした場合、リタルダント設定は6小節目にのみ適用されます。この数値を「7」にした場合は、6小節目と7小節目にまたがって適用されます。

### ※逆方向にリタルダント設定を掛けることはできません。例えばこの場合ですと、前の小節番号 (5 小節目以前)を設定しても、効果は6小節目のみに留まります。また、リタルダント設定を 適用した場合、テンポ変化が終了した時点の値がその後も保持されます。

テンポ設定	×
	<u>QK</u> (キャンセル( <u>©</u> ) ヘルプ( <u>H</u> )
表示♡	
a piacerel 🗸 🖓	キストフォント①
<ul> <li>✓ メトロノーム(M)</li> <li>○ = ↓</li> <li>○ = 120</li> <li>□ 力ッコ(P)</li> </ul>	<u>レームフォント(M)</u>
- Uタルダント設定(B)	
元の値の 100 📚 %まで徐々に	変更

# 18. コードネームの選択(Ctrl + Alt + A)<sup>(</sup><sup>117</sup>

譜面上にコードネームを入力できます。

このボタンをクリックすると「コードネーム選択ウィンドウ」が表示されます。

・ルート: コードのルート音を指定します。

•ベース: コードのベース音を指定します。

・サフィックス: サフィックスの種類を指定します。
 カスタム: よく使われるサフィックスをまとめたものです。
 全部: 登録されているすべてのサフィックスを表示します。

 ・コードネーム表示: フレットボードと一緒にコードネームを表示する 場合にチェックします。「フレットボード表示」に チェックが入っていない場合は、解除することが できません。

・記号として表示:「maj」を「△」で表示します。

•フレットボード表示: ギター用フレットボードを表示します。

・ウクレレ: フレットボード表示をウクレレ用に切り替えます。

ボードサイズ:フレットボードのサイズを指定します。





・ルート(根音)

コードの基礎となる音を指します。

・ベース

コードの最低音を指します。ルート以外の音がベース音として使用される場合、上図のように 斜線の右側にベース音を表記します。

・サフィックス

「m7」や「sus4」といったコードネームの接尾辞を指し、コードを構成する音の配列パターンを示します。

### <コードネームを入力するには>

- 1. コードネームの選択ウィンドウより「ルート、ベース、サフィックス」の各項目を選択します。
- 2. 譜面上にマウスポインタを移動すると、ポインタと一緒にコードネームが表示されます。
- 3. コードネームを入力したい音符の符頭、または小節でマウスをクリックします。

入力されたコードネームは音符、また小節に所属します。

4. 選択ボタンを押して、コードネーム入力の状態を解除します。



・選択ツールを使用してコードネームの位置を移動することができます。

・上下の移動についてのみ「Ctrl キー」を押しながら実行すると、同じブロックのコードネームを同時に移動できます。(下図の枠内にあるコードネームを同時に上下移動可能)



### <コードネームのフォントを変えるには>

「設定」メニューの「基本設定」ダイアログボックス 内にある「フォント」より変更することができます。 項目より「コード」を選択し、必要な設定を行った 後に OK をクリックして下さい。

### <コードネームを編集するには>

「サフィックス」より任意の項目をダブルクリックす ると「コードネームの編集」ダイアログボックスが

表示されます。ここで新しいコードネームを追加または変更、削除することができます。 「ファイル」メニューの「ライブラリーの編集」メニューから「コードネームの編集」を選択しても同 じ画面が表示されます。

- 「追加」ボタンを押すと「新しいコードサフィ ックスの追加」ウィンドウが表示されます。
- 入力規則(次ページ参照)に従ってコード サフィックスを入力し「OK」ボタンを押すと 「コードネームの編集」ウィンドウに新しくコ ードサフィックスが追加されます。





 鍵盤上にマウスポインタを移動すると、下図の 状態にポインタが変化します。



新し	いコードサフィックスの追加 🛛 🔀
	新しいコードサフィックス名(N):
	QK (キャンセル(Q)) ヘルブ(H)

- 任意の鍵盤をクリックすることで構成音の編集を行えます。
   鍵盤をクリックするごとに、チェックのオン・オフが切り替わります。
- 5. 「OK」ボタンを押した後「コードネームの選択」ウィンドウを表示し、「全部」タブをクリック すると新しく追加したコードサフィックスが表示されます。

### <サフィックス編集の仕組み>

サフィックスの編集は、Cコードの構成を基本にして行います。

「Cコードのルート音である"ド"に対して、どれだけ離れた音が追加されたか」がサフィックス情報になりますので他のコードに対しても、そのコードのルートからサフィックスで指定された距離だけ離れた音を追加する仕組みです。

### <サフィックスの入力規則>

- ~ (チルダ): この記号で始まる文字は上段に表示されます。
- ・\_ (アンダーライン): この記号で始まる文字は下段に表示されます。
- b (英字キーのb): この記号はフラットを示します。
- \$: この記号はナチュラルを示します。
- # : この記号はシャープを示します。

(入力例)

# $C_{m7}^{(65)}(add9) : m7^{(b5)}(add9)$

# 19. コードネームの自動入力 禠

入力された旋律に対して自動的にコードを割り振る機能です。

必ずしも最適なコードが割り振られるとは限りませんので、場合によっては手動でコードを 入力し直して頂けますようお願いします。

### 20. リズムの選択(Ctrl+Alt+S) 💷

譜表上にリズムパターンを入力します。

・リズムグループ:

リズムグループを選択します。

・リズムパターン:

リズムパターンを選択します。

・クリックしてテストプレイ:

リズムパターンを選択するたびにリズムを演奏します。

・テスト:

選択したリズムパターンを演奏します。

・ストップ:

リズムのテストプレイを中止します。

### <リズムを入力するには>

- 1. リズムグループ、及びリズムパターンから入力したいリズムを選択します。
- 2. 譜面上にマウスポインタを移動すると、ポインタと一緒にリズム名が表示されます。
- リズムを付けたいコードネームにマウスポインタを 合わせると、ポインタの形がペンになります。



- この状態でマウスをクリックするとリズムが入力され ます。リズムは対象のコードネームとセットになります。
   ※コードネームが消去されると、そこに入力されたリズムも一緒に消去されます。
- 5. リズムを「選択無し」の状態にするには、リストより「No Rhythm」を選び、該当する部分に 入力してください。

### <リズムを消去するには>

表示メニューの「リズム」にチェックを入れると、譜面上に入力したリズム名が常に表示されるよう になります。この状態で消去ツールを使用してリズムを消去することができます。

リズムの選択	X
リズムグループ(①):	
_RHYTHM1	~
リズムバターン(E):	
(No Rhythm) 4/4 April	<u>^</u>
4/4 Autumn	
4/4 Believer	=
4/4 Bgie On 4/4 Body	
4/4 Boogie 4/4 Called	
4/4 Close	
4/4 Edge	
4/4 Fun 4/4 Gumbo	
4/4 Hotel 4/4 Late	~
	プレイ・
(テストロ) ストッ	ブ( <u>S</u> )
ヘルブ(円)	

# 21. 発想標語の選択 Exp

譜面上に発想標語を入力します。

追加:「発想標語の編集」ウィンドウにて 新規に発想標語を追加できます。

発想標語の編集
<u>¯</u> +¬FD
フォント(F) MS Pゴシック 💌 サイズ 🕲 10 💌
□太字(B) □斜体(I) □下線(U)
OK         キャンセル         ヘルゴ(出)



削除:現在選択されている発想標語をリストから削除します。

標準設定:発想標語リストに加えられた編集をクリアして初期状態に戻します。

### <発想標語を入力するには>

- 1. 「発想標語の選択」ウィンドウより発想標語を選択します。
- 2. 楽譜内の発想標語を入力したい位置でマウスをクリックします。

# 22. カスタムシンボルの選択 §

譜面上にカスタムシンボルを入力します。

### <入力方法>

「カスタムシンボルの選択」ウィンドウより入力した い記号を選択して、そのまま譜面上の入力した い位置でマウスをクリックします。

### ・作成:

「カスタムシンボルの編集」ウィンドウを表示しま す。リスト中に存在しない新しい記号を作成でき ます。

カスタムシンポル	の選択				×
1	<b>9:</b> 2	B	<b>&amp;</b> 4	<b>♀</b> ■ 5	ヘルプ(H)
6	)	8	+	10	
11	<b>P</b> 12	<b>b</b> 13	0	1	
2	3	4	5	<b>6</b>	作成。(U) 編集。(E)
<	0		*	<b>~</b>	コピー(P) 前順余(D)

•編集: 選択した記号を編集します。

<カスタムシンボルの作成>

・コピー: 選択したシンボルをコピーして、リストの最後尾に追加します。

・削除: 選択した記号をリストより削除します。

編集と削除のボタンはユーザーによってコピー、追加された記号を選択したときのみ有効になります。

「カスタムシンボルの編集」ウィンドウにて自由に記号を作成して登録することができます。

このウィンドウは「選択、消去、切り取り」などの 通常の編集ボタンに加え、図形やテキストを 描画するためのボタンも備えています。



# $\mathbf{R} \oslash \ \mathbb{X} \models \Box \ \mathbf{\mathcal{O}} \oslash \ \mathcal{O} \oslash \ \mathcal{O} \oslash \ \mathcal{O} \frown \ \mathcal{O}$

- 1. 選択:入力した記号を選択、移動する際に使用します。
- 2. 削除:入力した記号を削除します。
- 3. 切り取り: 選択ツールで選択した記号を切り取ります。
- 4. コピー: 選択した記号をコピーします。
- 5. 貼り付け: 切り取り、またはコピーした記号を貼り付けます。
- 6. 元に戻す/やり直し: 実行した操作を元に戻す、またはやり直します。
- 7. **描画ツール**: 直線、四角形、円、多角形、ブラケットやテキストなどを入力します。



 フォント: テキストまたは記号が選択されたときに有効になります。クリックするとフォント ウィンドウが表示されるので、このウィンドウにて記号やテキストのフォントまたはサイズを 変更できます。

- カスタムシンボルの選択: カスタムシンボルの選択ウィンドウが表示されます。このウィンドウから編集したい記号を選びダブルクリック、または Enter キーを押すことで編集画面に記号を入力できます。
- 10. スタイル:線の種類や幅、図形の塗りつぶしの有無を選択します。
- •OK: 編集したシンボルを保存して「カスタムシンボルの編集」ダイアログボックスを閉じます。 編集したシンボルはリストの最後に追加されます。
- ・キャンセル: シンボルの編集を取り消して「カスタムシンボルの編集」ウィンドウを閉じます。

# 22. 音程録音 📢

マイクで録音された音程を認識して音符を入力します。

※マイクの接続については、お使いのパソコンのマニュアルをご覧ください。

「音程録音」ボタンを押すと「録音設定」ウィンドウが表示されます。

### ・記譜クオンタイズ値:

記録しようとする音符の最小単位を選択します。

### ・スタート音:

認識された音程を楽譜に記譜する際の、初めの音 符の音程を指定します。そのため、スタート音の設 定によって楽譜は移調されて表記されます。

#### ・発声テンポ:

録音する際のテンポを入力します。

「録音」ボタンを押すと音量メーターが表示され、録音がスタートします。 テンポの目安になるパートが無い場合は、メニューバーの

「設定」メニューより「録音時メトロノーム音出し」にチェックを 入れておくとメトロノーム音が鳴ります。

録音	しています。	X
Ĵ	幕音中止© キャン	tu (C)

メトロノーム音を出す設定にした場合は、録音ボタンを 押した後に1小節分のカウントが入りそれから録音がスタートします。チェックが入っていな いと「録音」ボタンが押されると同時に録音が始まってしまいますのでご注意ください。

「録音中止」ボタンをクリックすると録音を終了し、譜面上に認識された音符を表示します。

録音設定		
設定		
記譜クオンタイズ値	W	
スタート音( <u>S</u> )	:	C6 💌
発声テンポ( <u>T</u> )	:	120 🔿
録音(R) キャンセル	) ()	へルゴ(円)

### イメージツールバー

楽譜にイラストを挿入したり、挿入したイラストを編集するためのボタンが入っています。



### 1. イメージ挿入

ボタンを押して譜面上のイラストを入力したい位置 でクリックすると「イメージ挿入ウィンドウ」が表示さ れます。このウィンドウで画像データを選択して OK をクリックすると、譜面に画像が挿入されます。

### ·参照:

「ファイルを開く」ウィンドウを開き、そこから挿入 したい画像データを選びます。

### ・イメージサイズ:

イラストを元サイズのまま挿入、もしくはページ全体に拡大して挿入するかを選択します。

#### ・垂直位置:

五線の前面と背面のどちらにイラストを挿入するかを選択します。

2. コントラスト

画像のコントラストを調整します。

- 明るさ 画像の明るさを調節します。
- 回転・反転 画像を回転、または反転します。
- 5. 垂直位置

画像の垂直位置(五線の手前/後ろ)を切り替えます。

### 6. イメージサイズ

画像を元々の大きさにするか、それともページ全体に拡大するかを切り替えます。

7. 色合い調節

色合い調節ウィンドウを開きます。 このウィンドウでは明るさとコントラストを微調整 することができます。

色合い調節	E
明るさとコントラスト	
明るさ(-255から255まで)	0
ŪŪ	
コントラスト(-100から100まで)	0
	(H)



イラストを編集するためのボタンは

編集したいイメージが選択状態に

あるときに有効になります。

挿入した画像は位置を自由に移動できる他、サイズも自由に変更できます。 選択状態にある画像は青枠で囲まれるので、移動したいときは枠内をクリックしたままドラッグし ます。サイズ変更の場合は、枠の右下にあるハンドルをクリックしたままドラッグします。

「Ctrlキー」を押しながら移動することで、画像のコピーが可能です。 「Altキー」を押しながらサイズ変更をすると、縦横比を保ったまま拡大縮小できます。

### **書式バー**(Ctrl+F10)

テキスト、歌詞の入力を行う際のフォントやサイズの変更を行います。



#### テキスト入力、歌詞入力以外の状態では、灰色で表示されています。

1. フォント

リストからフォントを選択します。

2. サイズ

フォントサイズを指定します。

- 3. スタイル テキストに太字、斜体、下線の設定をします。
- 文字揃え
   左、中央、右揃えの設定をします。
- 5. リハーサルマーク テキスト入力欄を枠で囲みます。
- 6. 行間

行間を設定します。

 縦書き・横書き切り替え 縦書きと横書きを切り替えます。

### ステータスバー

現在、マウスポインタが置かれている位置の情報を表示します。

編集したい位置でクリックしてください。	譜表:1	カーソルの位置:5:1:0,A5	中心オクターブ = C4
1	2	3	4

- 1. 編集操作についての説明を表示します。
- 2. マウスポインタの置かれている譜表番号を表示します。
- 3. マウスポインタの位置を表示します。(小節番号、拍子、ティック、音程)
- 4. 中心となるオクターブを表示します。

### コントロールパネル

メインウィンドウの下部に配置されており、小節カウンターやページカウンターが表示されます。



- 1. **ルーラー表示/非表示:** ルーラーの表示と単位を設定できます。
- 2. ボイス設定:ボイスの選択ができます。
- 3. 小節カウンター: 楽譜の総小節数と、カレットが現在置かれている小節を表示します。
- 4. ページカウンター: 楽譜の総ページ数と、カレットが現在置かれているページを表示します。
  - 小節カウンターとページカウンターの両端にあるボタンを押すことで、カレットの位置をひとつずつ移動、または先頭や最後尾に飛ばすことができます。表示欄に数字を 直接入力して Enter キーを押すことでも移動可能です。

### <ボイスごとの音符入力、編集>

譜表ごとに最大8つのボイス(声部)を記譜することができます。



・各ボイスについての設定

メニューバーの「設定」より「基本設 定」をクリックすると「基本設定」ウィ ンドウが表示されます。

その中の「ボイス」タブより各ボイスに ついての設定が行えます。

ここではボイス1の音符尾の向きは 上に、ボイス2の音符尾の向きは下 に設定して解説します。

基本設定							X
表示 ボイス ナ	コラー「フォント」	タイノスラー	間隔	規格 沪	演奏	括弧	数字譜
	音符尾の向き	Ť	音符	1	休符		
ボイス1(1)	上へ 🔽	] 🗹	表示		表示		
ボイス2(2)	上へ 💌	] 🗹	表示		表示		
ボイス3(3)	自動上へ		表示	<b>~</b>	表示		
ボイス4(4)			表示	<b>~</b>	表示		
ボイス5(5)	上へ 💌	] 🗹	表示	<b></b>	表示		
ボイス6( <u>6</u> )	<u></u> 주~ <b>~</b>	] 🗹	表示	<b>V</b>	表示		
ボイス7(7)	自動 🗸	] 🗹	表示	<b>V</b>	表示		
ボイス8( <u>8</u> )	上へ 🔽	] 🗹	表示	<b>V</b>	表示		
<u>o</u> k	++>	ren©	ヘルブ(団)		適用(	<u>A)</u>	

※このウィンドウで設定した音符尾の向きは「適用」を押した以降より入力される音符から有効 になります。 1. ボイス設定ボタンが「すべて」の状態で音符を入力し ます。音符尾は上向きで入力されます。



※「すべて」で入力された音符は「ボイス1」に割り当てら れます。

2. コントロールパネルのボイス設定ボタンを「すべて」から「ボイス2」に切り替えます。 先ほどの「すべて」で入力した音符は灰色で表示されます。



- ボイス2の音符を入力します。
   音符尾はすべて下向きで入力されます。
- コントロールパネルのボイス設定ボタンを再度「すべて」にすると、各ボイスの音符がすべて楽譜に表示されます。



ボイス別に音符を打ち込んだ場合は、ボイスタブで「すべて」が選択されているときのみ すべてのボイスを演奏することが可能です。個別にボイスが選択されているときは、その ボイスの音符のみ演奏します。

灰色で表示している音符は演奏されません。消去などの編集操作も一切受け付けないので この機能を編集時の誤操作防止のために使用することもできます。

### ツールバー/パレットのレイアウト変更

ツールバーとパレットは通常、画面の上部分もしくは左部分に格納された状態で表示されます が「着脱ハンドル」をマウスでクリックして譜面上にドラッグすることで、自由な位置にパレットを 配置することができます。パレットのタイトル部分をダブルクリックすると、再び格納できます。 また、パレットのタイトル部分を右クリックすると表示されるメニューより、パレットの向きを縦/横に 変更することができます。



### メニューバー

### 1. ファイルメニュー

データの作成、保存などを実行するのに必要なコマンドを まとめたメニューです。

### ・新規作成(Ctrl+N)

「新規作成ウィンドウ」を用いて、新しい楽譜を作成します。

新規作成				
	2	段譜( <u>B</u> )	5	ブロック(S)
	1	譜表あたり	4	小節( <u>M</u> )
2 段	<b>#</b>	10 行 20	小節(	の楽譜を作成します
	( <u>0</u> )	   キャンセ	ır©)	へルゴ(円)

新規作成( <u>N</u> )	Ctrl+N
テンプレートから開く	
開<( <u>O</u> )	Ctrl+0
楽譜のマージ( <u>G</u> )	
閉じる( <u>C</u> )	
上書き保存( <u>S</u> )	Ctrl+S
名前を付けて保存(A)	
イメージパラメータの設定	Ctrl+Alt+X
イメージとして保存	Ctrl+Alt+Z
パート譜作成( <u>E</u> )	
ライブラリーの編集( <u>L</u> )	•
ScanMusicを起動( <u>M</u> )	
ヘッダー/フッター編集( <u>H</u> )	
楽譜情報( <u>I</u> )	
プリンタの設定( <u>R</u> )	
印刷プレビュー(⊻)	
印刷( <u>P</u> )	Ctrl+P
最近使ったファイル	
終了( <u>X</u> )	Alt+F4

「○段譜」の部分には、作成したい譜表(楽器パート)の数。 「○ブロック」には、1ページあたりのブロック数。

「1譜表あたり〇小節」には、譜表を構成する小節数を入力します。

MusicScore PRO3 が起動した時点で表示される楽譜は 「2段譜5ブロック、1譜表あたり4小節」の楽譜になります。

#### 【注意】

### 設定するブロック数によっては楽譜から五線がはみ出してしまうこともあります。 その場合は「ページあたりのブロック数」で1ページに収めるブロック数を減らして下さい。

標準ツールバーより「新規作成ボタン」をクリックした場合は、このウィンドウは表示されずに デフォルト設定の楽譜が新たに作成されます。

(2 譜表・5 ブロック・1 譜表あたり4 小節の楽譜をデフォルトとします)

### ・テンプレートから開く

テンプレート楽譜ファイルを開きます。 MusicScore PRO3 のテンプレートファイルの他に、以前の MusicScore シリーズで作成した テンプレートファイルも展開可能です。

### ・開く(Ctrl+O)

保存された楽譜ファイルを展開します。

以下のファイルを展開可能です。

- ・MusicScore PRO3 ファイル (\*.sm3)
- ・以前のバージョンの MusicScore ファイル (\*.sm2 \*.s22 \*.smc \*.sml)
- ・MusicScore PRO3 テンプレートファイル(\*.tp3)
- ・以前のバージョンの MusicScorePro テンプレートファイル (\*.tp2 \*.tpl)
- ・ScanMusic ファイル (\*.zmf)

・スタンダード MIDI ファイル (\*.mid \*.rmi)

- ・Encore ファイル (\*.enc)
- ・レコンポーザファイル(\*.rcp)

MIDIファイルや RCPファイルを開くとき は「記譜クオンタイズ値」にご注意下さ い。(101 ページ)

### ・楽譜のマージ

現在編集中の楽譜に、別の楽譜ファイルを結合します。

「マージしたい楽譜を開く」ウィンドウより結合したい楽譜ファイルを選択して「開く」を押すと 現在編集している楽譜の最終ページに選択した楽譜ファイルを結合します。

ブロックあたりの譜表数が異なる楽譜を結合する場合は、譜表数の多い楽譜に揃えられます。

### ・閉じる

作成中の楽譜を閉じます。

閉じようとする楽譜ファイルに変更箇所がある場合は確認メッセージが表示されますので 「はい」を選択すると「名前を付けて保存」ウィンドウが開きます。

### ・上書き保存(Ctrl+S)

作成中の楽譜を同じ名前で上書き保存します。

上書き保存しようとする楽譜ファイルがまだ存在しない場合は「名前を付けて保存」ウィンドウが 開きます。

### ・名前をつけて保存

作成中の楽譜ファイルを別名で保存、また MIDI 形式や、テンプレートファイルとして保存する 場合に使用します。



### 「ファイルの種類」を指定することで、以下の形式で保存が可能です。

- ・MusicScore PRO3 ファイル (\*sm3)
- ・スタンダード MIDI ファイル (\*.mid) 楽譜に歌詞が含まれている場合は、楽譜と一緒に保存します。
- ・MusicScore PRO3 テンプレートファイル(\*.tp3)
- ・WAV ファイル(\*.wav) ※44.1khz、16bit、ステレオのみ

### 楽譜をWAVEファイルで書き出す際には「MusicScoreシンセ」の音が使用されます。

#### ・イメージパラメータの設定(Ctrl+Alt+X)

保存したいイメージファイルのパラメータを設定する際に使用します。

デフォルトに設定

イメージファイルを、現在設定されている印刷用紙サイズに 設定します。

任意に設定

イメージのパラメータ項目で幅と高さを任意に設定できます。

### ※ 解像度が高いほどきれいな画像データになりますが 出力される画像サイズも大きくなりますのでご注意ください。

### ・イメージとして保存(Ctrl+Alt+Z)

作成中の楽譜を画像データで保存します。

イメージとして保	存			(	? 🗙
保存する場所①	📋 マイ ドキュメント	<b>~</b> (	3 🕫 🛙	"	
My Stationery					
□ マイ ピクチャ □ マイ ビデオ					
こう受信したファイル は なります は なり なります は なります は なり					
Mar Alan					
ファイル名(N):	楽譜1			【保存(S)	
ファイルの種類(工):	ビットマップ ファイル(*.bmp)		~	キャンセル	

以下の形式での保存が可能です。

\*.bmp、\*.jpg、\*.gif、\*.tif

画像データは楽譜ページごとに作成されます。 よって4ページの楽譜データの場合は4個の画像データが作成されます。

イメージパラ	ラメータの影	淀			
<ul><li>● デフォノ</li></ul>	レトに設定(D)				
○任意に	設定(U)				
イメージの	バラメーター				
幅:					
高さ:		cm	~		
解像度:	300	dpi	~		
DK (キャンセル(©) ヘルブ(出)					

### ・パート譜作成

選択した譜表のみで構成される楽譜(パート譜)を作成する場合に使用します。

パート譜作成

譜表

### 譜表:

パート譜にしたい譜表にチェックを入れます。 小節に属するテキスト: 選択された譜表に表示されているテキストが 新しく作成されるパート譜にも表示されます。

#### 歌詞:

選択された譜表に表示されている歌詞が 新しく作成されるパート譜にも表示されます。

### ページあたりひとつのブロックで作成:

□ 信表 1 □ 信表 1 □ 信表 2 □ 信号 2 □ 信号 2 □ 信号 2 □ 信号 2 □ 信 2 □ 信 2 □ 信 2 □ 信 2 □ 信 2 □

X

### 1ページにつき1つのブロックでパート譜を作成します。

### ページに属するテキスト:

選択された譜表に表示されているテキストが、新しく作成されるパート譜にも表示されます。

### ・ライブラリーの編集

コードネームやリズムパターンのライブラリーを編集するコマンドです。 このコマンドには4つのサブメニューがあります。

### <コードネームの編集>

現在使われているコードネームのサフィックスを変更、新規作成、削除する場合に使用します。

コードネームの編集				×
コードネーム:	コードサフィッ	ックス( <u>S</u> ):		カスタム(E)
C サフィックス名似: (major)	(major) (b5) 6 (9) 7 (#11) 7 (#9) 7 (#9) 7 (#9, 13) 7 (13) 7 (9) 7 (9, #11)	7(9,#11,13) 7(9,13) 7(9,513) 7(5,513) 7(5,59) 7(5,5,69) 7(5,5,69) 7(5,5,69) 7(5,5,9) 7(5,9,13) 7(5,9,13) 7(5,9,13) 7(5,9,13) 7(5,9,13) 7(5,9,13)	7aug (9) 7sus4 3cus4 (9) add9 aue dim m(b5) m.ad9 m.aug m.aug m.maj7	(major) 7(9) m7 m7(9) m3(7) m3(7) sus4
	追加( <u>A</u> )	前除	0	
	EFGAB	• • • D E F G A E	B C D E F G A B	>>> 追加(T) (<< 削除(L)
	ОК	(キャンセル( <u>©</u> )		<u>Ø</u>

### コードネーム:

コードネームのプレビュー画面です。

### コードサフィックス:

サフィックスの種類を指定します。

### サフィックス名:

現在選択したサフィックスを表示します。この編集ボックスで選択したサフィックスの名前を修 正できます。

### 追加:

「新しいコードサフィックスの追加」ウィンドウが表示されます。ここで新しいコードサフィックス 名を入力し、「OK」ボタンをクリックすると新しいコードサフィックスが追加されます。

### 詳細は「コードネームの選択」をご覧下さい。(コードネームの選択→49 ページ)

### 削除:

選択したサフィックスを削除します。

### ミニ鍵盤:

サフィックスを選択すると、ミニ鍵盤にコード構成音が表示されます(C をルートとして表示されます)。 鍵盤をクリックして構成音を編集することが可能です。C 以外の音をルートとした場合には、コードライブラリーに登録される時点で、自動的にルートをCとして移調されます。

### カスタムサフィックス:

よく使われるサフィックスを別にまとめたものです。

### 追加:

「コードサフィックス」リストで現在選択されているサフィックスを「カスタムサフィックス」リストに 追加します。「コードサフィックス」リストのサフィックスをダブルクリックしても追加されます。

### 削除:

「カスタムサフィックス」リストで現在選択されているサフィックスを削除します。

「カスタムサフィックス」リストのサフィックスをダブルクリックしても削除されます。

### <フレットボードの編集>

選択されたコードネームに該当するギターやウクレレのフレットボード表示を編集する場合に使用します。

フレットボードの編集			
	コードネーム ルート(®) ベース(®)	サフィックス(S)	
C7 ○ × ○ × ○ × ○ × ○ × ○ × ○ × ○ × ○ × ○	B# C C# Db Db D# Eb Eb Eb Eb Eb Eb FF Fb Ffb Ffb Ffb Ffb Ffb Ffb	(major) 7(9,13) 7(sus4) (b5) 7(9b13) add9 6 7(b13) add9 6 7(b13) add9 6 7(b13) add9 7(1) 7(b5) m 7(11) 7(b5) m 7(13) 7(b9) mase 7(13) 7(b9) m 7(13) 7(b9) m (13) 7(b9) m 7(13) 7(b9) m (13) 7(b9) m (14) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15	9 7 7(9)
	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	A B C D E F G A B	

ルート:

コードネームのルート音を指定します。

ベース:

コードネームのベース音を指定します。

サフィックス:

サフィックスの種類を指定します。

### フレットボード編集ウィンドウ:

フレットボードの編集ウィンドウにあるスクロールバーを移動して、フレット番号を選択します。 フレットボード表示ウィンドウの右にある、縦に並んだボタンで編集を行います。

- 1. フレット上の実際に指で押さえる位置を指定するボタンです。
  - 選択してフレット上の入力したい位置でクリックします。
- 2 2. 開放弦を指定するボタンです。
  - 選択してフレット上の入力したい弦でクリックします。
- 3. 音を鳴らさない弦を指定します。
  - 選択してフレット上の入力したい弦でクリックします。
  - ボード上にセーハ(ひとつの指で複数の弦を同時に押さえること)を表記します。 選択して入力したい位置でクリックしたままドラッグします。この設定は鍵盤上に は反映されません。また「ウクレレ」にチェックが入っているときは選択できませ ん。フレットボードの格子が交わった部分をクリックするのがうまく入力するポイ ントです。

 セーハ(ウクレレ用)を表記します。
 選択して入力したいフレットをクリックします。「ウクレレ」にチェックが入っているときのみ選 択可能です。

### ウクレレ:

ウクレレ用のフレットボードを表示します。

クリア:

フレットボード上のマークをすべて消去します。

### デフォルト:

フレットボード上のマークを、選択したコードの構成音に戻します。

#### 鍵盤:

コードネームを選択すると鍵盤にコードの構成音が表示されます。また、鍵盤をクリックすることによってフレットボードを編集することもできます。

	1
0	2
X	3
	4
-	5

### <リズムパターンの作成>

リズムパターンのライブラリーを変更、新規作成、削除する場合に使用します。

#### リズムグループ:

リズムグループを選択します。

### 新規グループ:

「新規リズムグループ名の入力」ウィンドウが表示 されます。ここで新しいグループ名を入力して 「OK」ボタンをクリックすると新しいグループが作 成されます。

#### リズムパターン:

リズムパターンを選択します。

#### パターン名:

選択されたパターン名を表示します。

### パターンファイル:

「リズムパターンファイルの選択」ウィンドウが表 示されます。ここでリズムパターンを選択します。

#### 追加:

「リズムパターン追加」ウィンドウが表示されます。ここでリズムパターン名とパターンファイル名を 入力して「OK」ボタンをクリックすると新しいリズムパターンが作成、追加されます。

### 削除:

選択されたパターンを削除します。

### ・新しいリズムパターンの追加方法

1. パターンファイルとして登録したいフレーズを1小節作成します。作成したいパターンに よって、小節数は2小節以上でも構いません。



パターンファイルは必ずハ長調で作成してください。 また、パターン小節の最後には終止線を入れて、余分な空白小節は削除してください。

# 10チャンネルはドラム音色で固定されています。

番号	譜表名	演奏	УP	トランスポーズ	ーチ	ャンネ	516	楽器名	音量	<u>t</u>	バ	/
1	請表 1			None	1	6		1:グランドピアノ(GM)	127		С	
2	請表 2			None		7	/	34:フィンガーベース(GM)	127	û	С	

バムパターン	の作成	X
リズムグルー	7@	QK
_RHYTHM1	~	
新担グルー	→(N) 間IIS余(D)	142670
41196210	2 (11 HAV (2)	ヘルプ(円)
リズムパター	2(R)	
18/2-1-2/0	- • 4/4 April	
	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••	UNANC.
(No Rhythm)	4/4 Cryin	4/4 Neo Aco2
4/4 April	4/4 Edge	4/4 NineOh
4/4 Autumn	4/4 Fun	4/4 Unce
4/4 Beat	4/4 Gumbo	4/4 Pizz
4/4 Believer	4/4 Hotel	4/4 Polka
4/4 Bgie On	4/4 Late	4/4 Rhapso
4/4 Body	4/4 Luvin	4/4 Ribbon
4/4 Boogie	4/4 Moods	4/4 Silence
4/4 Called	4/4 My	4/4 StartUp
4/4 Close	4/4 Neo Aco1	4/4 Tears
<		
	jetn(A)	

3. ファイルメニューより「名前を付けて保存」を選択します。



「保存する場所」を MusicScore PRO3 がインストールされているフォルダの中にある 「Rhythm¥Patterns」に設定します。「ファイルの種類」を sm3 形式に設定して「保存」をクリックし ます。デフォルトの状態では、以下が該当する保存場所になります。

「C:¥シルバースタージャパン¥MusicScore PRO3¥Rhythm¥Patterns」

4. ファイルメニューより「ライブラリー編集」を選択して、サブメニューから「リズムパターンの 作成」をクリックします。

「リズムパターンの作成」ウィンドウが表示されたら 「リズムグループ」より、新しくパターンを追加したい グループを選択します。「新規作成」をクリックして グループを作成することもできます。 選択したら、ウィンドウ下部にある「追加」ボタンをク リックします。

5. 「リズムパターン追加」ウィンドウが 表示されます

リズムパターン追加		×
リズムパターン名(E):		
バターンファイル名(0):		参照
<u></u> K	キャンセル(Q)	

	X
UTLADU-JQ RHYTHMI RHYTHMI RHYTHM3 ARPEGIO BEAK BEALAD JEAK JEAK	QK     (→++)+ZUV(Q)     (→)UJ(Q)     (→)UJ(Q)

このウィンドウでリズムパターン名とパターンファイル名を設定します。

「参照」ボタンをクリックすると「リズムパターンファイルの選択」ウィンドウが表示されるので そこからパターンファイルを選択できます。

これらふたつの項目に入力してから「OK」ボタンをクリックします。

6. 「リズムパターンの作成」ウィンドウの「リズムパターン」項目に、新しくリズムが追加された ことを確認します。問題がなければ「OK」をクリックしてウィンドウを閉じます。

追加したリズムパターンは「リズムの選択」ウィンドウより楽譜上に入力することができます。 リズムパターンの入力については「リズムの選択」(52ページ)を参照してください。

### くドラムマップ>

現在使われているドラムマップのライブラリーを変更、新規作成、削除する場合に使用します。 ドラムマップウィンドウではドラム譜にてどのようなドラムリストを使用するか、またドラムリスト中の 各ドラムをどの音程に対応させ、また、そのドラムの演奏をどの譜頭形状で記譜するかを設定し ます。

名前	ビッチ	ノート	^	音符の種類(T)
Closed Hi-Hat	F#2	42		
🗹 High Floor Tom	G2	43		位置(P)
🔽 Foot Hi-Hat	G#2	44		<u>^</u>
Low Tom	A2	45		
🔽 Open Hi-Hat	A#2	46		
🔽 Low-Mid Tom	B2	47		
✓ Hi-Mid Tom	C3	48		*
🔽 Crash Cymbal	C#3	49		▼マウス入力時に使用(F
High Tom	D3	50	~	

ドラムマップ名:ドラムマップの選択及び、新規作成を行います。

メニューボタン:ドラムテーブルを管理するメニューが表示されます。

### ・ドラムテーブルの新規作成:

新しいドラムテーブルを作成します。

### •削除:

選択されているドラムテーブルを削除します。

### ·名前変更:

選択されているドラムテーブルの名前を変更します。

・コピー:

選択されているドラムテーブルをコピーして、新しいドラムテーブルを作成します。 ・保存:

選択されているドラムテーブルの変更内容を保存します。

ドラムリスト: 使用するドラムをチェックして選択し、ドラムごとに右のウィンドウで設定をします。

音符の種類: 選択したドラムを、どの形状で記譜するかを設定します。
 位置: 選択したドラムを、五線のどの位置で鳴らすかを設定します。
 マウス入力時に使用: 五線上の同じ位置に複数の楽器(ドラム)が割り当てられた場合
 入力する上で優先させたいドラムに対してこのチェックを入れます

ドラムマップの設定方法については28ページ以降の「ドラム譜への入力」を参照してください。

### ・ScanMusic を起動

楽譜 OCR ソフト「ScanMusic」を起動します。

#### ・ヘッダー/フッター編集

作成中の楽譜ページのヘッダーとフッターを編集します。

ヘッダー/フッター編集
ヘッダー1 ヘッダー2 フッター1 フッター2
テキスト①
ページ番号挿入 日付挿入 時間挿入
フォント(E) MS Pゴシック 💌 サイズ(S) 12 💌
□ F4(U) ○ F×W □ 奇数/偶数ページ切り替えW
開始番号(1) 1 ◆ スタートページ(2) 1 ◆
QK (キャンセルの) へルゴ(4)

「ヘッダー1、2」タブ: ヘッダー1、及びヘッダー2を編集します。

「フッター1、2」タブ:フッター1、及びフッター2を編集します。

テキスト: ヘッダー, フッターのテキストを編集します。

ページ番号挿入:楽譜にページ番号を挿入します。テキスト欄には「#P」と表示されます。

日付挿入:楽譜ページに日付を挿入します。テキスト欄には「#D」と表示されます。

時間挿入:楽譜ページに現在時刻を挿入します。テキスト欄には「#T」と表示されます。 フォント:テキストのフォントを設定します。

奇/偶ページ切り替え:この項目は左、右ボタンを選択した場合に有効になります。

例えば「左」ボタンを選択してこの項目をチェックすると、奇数ページで

は左、偶数ページでは右にテキストが挿入されます。

開始番号:ページの開始番号を入力します。 スタートページ:ヘッダー,フッターを挿入する最初のページ番号を入力します。

### ·楽曲情報

作詞、作曲、編曲、著作権、日付、コメントなどの楽譜情報を入力します。 ※ここで入力した内容は楽譜画面には表示されません。

▶ 譜面上に曲のタイトルや作曲者名などを入力するときは「ページテキスト」を使用します。

(ページテキスト→46 ペー	-ジ)
----------------	-----

楽譜情報	X
タイトル①	<u>O</u> K
作詞(1)	キャンセル( <u>©</u> )
作曲(P)	ヘルプ(王)
編曲(E)	
著作権①	
日付回	
コメント (M)	

### ・プリンタの設定

プリンタに関する設定を行います。

プリンタの設定				? 🔀
- ブリンタ ブリンタ名(N):	Brother MFC-9600J USB			プロパティ( <u>P</u> )
状態: 準 種類: Br 場所: U: コメント:	備完了 rother MFC-9600J USB SB001			
用紙			印刷の向き	
サイズ(乙):	A4	~		<ul> <li>         •         征         ①         </li> </ul>
給紙方法(S):	自動選択	~	A	○横( <u>A</u> )
ネットワーク()))		(	OK	**>セル

現在パソコンに接続されているプリンタの選択や印刷用紙のサイズなどを設定します。 ※詳しい設定方法は、お使いのプリンタに付属のマニュアルをご覧下さい。

### ・印刷プレビュー

作成中の楽譜を実際に印刷した時の状態で画面に表示します。 ※表示倍率によっては表示が乱れることがあります。



印刷:「印刷」ウィンドウを表示します。

次ページ/前ページ: 次のページ、もしくは前のページを表示します。

2ページ/1ページ: 画面表示を2ページ、または 1 ページずつで切り替えます。このボタンは プレビューを縮小表示しているときのみ有効になります。

拡大/縮小:楽譜を拡大、もしくは縮小して表示します。

•印刷(Ctrl + P)

楽譜を印刷します。

印刷		? 🛛
プリンタ プリンタ名(N): 状態 種類 場所	Brother MFC-9600J USB 準備完了 Brother MFC-9600J USB	▼ Ĵ□/ティ℗
場所: コメント:	058001	□ファイルヘ出力心
<ul> <li>印刷範囲</li> <li>・・     </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・      </li> <li>・・<!--</th--><th></th><th>ED刷部数 部数(Q): 1 📀</th></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></ul>		ED刷部数 部数(Q): 1 📀
○ページ指定	(G) 1 ページから(E) ページまで(T)	○部単位で印刷(Q)
○ 選択した部	分⑤ 	U <sup>2</sup> <sup>-1</sup> ОК *«Уди
基本設定の規格タブにある「印刷用紙サイズに合わせる」がチェックされていると、作成中の楽 譜を印刷用紙サイズに合わせて拡大あるいは縮小して印刷します。(規格タブ→108ページ)

# ・最近使ったファイル

最近使ったファイルを、新しいものから順に4つまで表示します。

# •終了(Alt + F4)

MusicScore PRO3 を終了します。 変更を保存していない楽譜ファイルがあれば、保存するかどうかを問い合わせるメッセージ ボックスが表示されます。

## 2. 編集メニュー

楽譜を編集する上での基本的な操作をまとめたメニューです。

#### ・元に戻す(Ctrl+Z)

直前の操作を取り消して、以前の状態に戻します。 32回分の操作を戻すことが出来ます。

## ・やり直し(Ctrl+Y)

「元に戻す」により取り消した状態を再現します。

#### ・切り取り(Ctrl+X)

選択範囲を切り取ります。切り取った内容は任意の場所に貼り付けることができます。

#### ・コピー(Ctrl+C)

選択範囲をコピーします。

## ・貼り付け(Ctrl+V)

切り取り、またはコピーした内容を貼り付けます。

# ▶ 「設定」メニューの「自動間隔調整」がチェックされている場合はカレットの置かれた小節に貼り付 けが行われ、チェックされていないとカレットのある位置を起点にして内容がそのまま貼り付けら れます。(自動間隔調整→112ページ)

クリア(Del)

選択範囲内の音符を削除します。「Delete」キーを押すことでも可能です。 音部記号や繰り返し記号などの一部の記号は削除できませんので これらを削除する場合は「消去ツール」を使用してください。

#### ・音符所属記号の削除

選択した範囲の音符に所属している記号(アクセントやフェルマータなど)を削除します。 所属記号をまとめて削除する場合に便利です。

#### ・カレットの前/後の部分を一括削除

カレットが置かれている位置より前または後ろにある音符を一括で削除します。

## ・ページ選択(Ctrl+A)

表示されているページ全体を選択します。

元に戻す(U)	Ctrl+Z
やり直し( <u>R</u> )	Ctrl+Y
切り取り(工)	Ctrl+X
コピー( <u>C</u> )	Ctrl+C
<u>貼り付け(P)</u>	Ctrl+V
クリア( <u>D</u> )	Del
音符所属記号の削除	
カレットの前の部分を一括削除	
カレットの後の部分を一括削除	
ページ選択(M)	Ctrl+A

## 3. 表示メニュー

画面表示の操作についてまとめたメニューです。

#### ・標準バー(Shift+F9)

標準ツールバーの表示/非表示を切り替えます。

#### ・ステータスバー

ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。

#### ・ツールウィンドウ

入力ツールバーの各種パレット、及び書式バー、コードネームの選択ウィンドウ、リズムの選択 ウィンドウなどの表示/非表示を切り替えます。

#### ・大きいアイコン

ツールバーやパレットのアイコンサイズを切り替えます。

#### ・描き直し(Ctrl+R)

編集中に音符や記号がずれてきちんと表示されない場合、このコマンドを選択すると楽譜を 再描画します。

## ・ハンドルを常に表示(Alt+C)

ハンドルの表示/非表示を切り替えます。 ハンドルはタイ、スラー、図形やカスタムシンボルに対して表示されます。

#### ・リズム(Alt+R)

入力したリズムパターン名の表示/非表示を切り替えます。 リズムパターン名は「リズムの選択」ウィンドウが現れている状態では常に表示されます。

#### ・MIDI イベント

楽譜に「MIDI イベント」を表示/非表示します。

#### ・ルーラー

楽譜にルーラーを表示/非表示します。

## ・ページライン

楽譜のページラインを表示/非表示します。

✓標準バー(B) Shift+F9 ✓ ステータスバー(S) ツールウィンドウ(W) ٠ 大きいアイコン(L) 描き直し(D) Ctrl+R ハンドルを常に表示(C) Alt+C ✓ リズム(T) Alt+R MIDIイベント(E) ✓ ルーラー(R) ページライン(P) 残り入力可能数(N) 拡大縮小(Z) ۲ ScanMusic楽譜(M) ۲

1.1	
1.00	
L	

#### ・残り入力可能数

「残り入力可能数ウィンドウ」を表示します。 これはカレットが置かれている小節に、残りどれだけの音符が入力できる かを知るための目安となるものです。

## ·拡大縮小

楽譜画面のサイズを拡大縮小します。100%、200%の場合は、それぞれ [Ctrl+Shift+1]、[Ctrl+Shift+2]を押すことによっても表示されます。「画面 に合わせる」または[Ctrl+Shift+Z]を押すと、楽譜を画面一杯に表示します。

## •ScanMusic 楽譜(Alt + 2)

サブメニューに「イメージ表示」があります。「zmf ファイル」を読み込んだ際に、埋め込まれている画像データの表示/非表示を切り替えます。

※ ScanMusic で作成した「zmf ファイル」には、音楽記号として認識できなかった部分が画像データとして 保存されています。楽譜を編集する際には、画像データが表示されているとやりづらい場合もありますので このメニューによって表示/非表示を選択できるようにしてあります。

(ScanMusic 認識可能記号一覧表→130 ページ)

## 4. 音符メニュー

音符の編集に関連するコマンドをまとめたメニューです。

## 音符メニューのコマンドを実行するためには、あらかじめ 対象となる音符を選択しておく必要があります。

#### ・音符属性変更(Ctrl+I)

「音符属性変更」ウィンドウを表示します。 音符棒の長さや 符頭・休符の形などを変更できます。

<b>音符属性変更</b>	
✓ 音符棒の長さ(S)	7 📚
□符頭の形状設定(E)	] ~
<ul> <li>音符棒の接続(D)</li> </ul>	J 🖌
■休符形状設定(B)	* *
不完全連桁の向き(B)	右側へ 🖌
<u>K</u> (キャンセ/	

音符属性変更( <u>N</u> )	Ctrl+I	
サイズ変更( <u>F</u> )	Ctrl+Shift+C	
臨時記号(Y)		۲
符尾の向き(A)		۲
ボイス移動( <u>M</u> )		۲
タイ(I)	Ctrl+T	
スラー( <u>S</u> )	Ctrl+L	
連桁( <u>Z</u> )		۲
移調( <u>P</u> )	Ctrl+Shift+P	
音価変更(D)	Ctrl+Shift+D	
連符設定(L)	Ctrl+Shift+L	
ベロシティー変更( <u>V</u> )	Ctrl+Shift+V	
上の譜表に表示( <u>U</u> )	Ctrl+Alt+U	
下の譜表に表示( <u>0</u> )	Ctrl+Alt+D	
和音に変換( <u>C</u> )	Ctrl+Alt+C	
装飾音に変換		۲
微調整		۲

列	り入	力可能	能数	X
	4	分	=	4
	8	分	F	8
	16	分	F	16
	32	分	F	32
	64	分	=	64

#### 音符棒の長さ:

音符棒の長さを変更します。

#### 符頭の形状設定:

符頭の形を変更します。

#### 音符棒の接続:

音符棒と符頭の接続位置を変更します。 この項目は「符頭の形状設定」にて符頭が「×」に設定されているときのみ有効になります。

#### 休符形状設定:

休符の形を変えることができます。

#### 不完全連桁の向き:

不完全連桁の左右の向きを変えることができます。

# 不完全連桁右 不完全通

#### ・サイズ変更(Ctrl+Shift+C)

音符や記号のサイズを変更します。

サイズを変更する対象をチェックボックスで選択してからスライダーを操作してサイズを変更します。

シャープ、フラット、ナチュラルは音符とひとまとめ で扱われるため、それらの記号だけ個別にサイズ 変更することはできません。

サイズ変更
<ul> <li>□ 音符と休存(W)</li> <li>✓ その他の記号(S)</li> </ul>
サイズ設定 〇 標準サイズの(型) ③ 現在サイズの(型) 100 %に変更する
]
QK (キャンセル/©) ヘルプ(出)

#### ·臨時記号

選択した音符を異名同音に変換します。 また、シャープとフラットを切り替えることもできます。

## 異名同音(Ctrl+E)

選択した音符を異名同音に変換します。

#### シャープをフラットに

選択範囲内の音符に付いている#をりに変換します。

## フラットをシャープに

選択範囲内の音符に付いている b を # に変換します。

異名同音(E)	Ctrl+E
シャープをフラットに(	5)
フラットをシャープに( <u>F</u>	E)

#### 77

# ・符尾の向き

選択した音符の符尾の向きを変更します。 符尾の向きを変更しようとする音符を選択してから、サブメニューより どれかひとつを選択します。 「標準」選択すると、基本設定の「ボイス」項目にて設定した符尾の 向きに揃えられます。

## ・ボイス移動

選択した音符を任意のボイスへ移動します。 ボイス移動させたい音符を選択して、サブメニューから移動先の ボイスを選択します。

#### ・タイ(Ctrl+T)

音符同士をタイで結びます。 ポイス&へ C この操作を実行するときは、ふたつ以上の音符が選択状態にある必要があります。

#### ・スラー(Ctrl+L)

音符同士をスラーで結びます。 これもタイ同様に、ふたつ以上の音符が選択されている必要があります。

## ·連桁

選択した音符同士を連桁にします。 右のようなサブメニューが表示されます。

## 解除(Ctrl+Q)

選択した範囲の音符の連桁をはずします。

グループ(Ctrl+G)

選択した範囲の音符を連桁でまとめます。

## 拍子通りに(Ctrl+B)

選択した範囲の音符をデフォルトの状態に連桁にします。 8分(Ctrl+M)、16分、32分サブグループ

それぞれの音価の連桁で結び直します。



解除(Q)	Ctrl+Q
グループ( <u>G</u> )	Ctrl+G
拍子通りに( <u>B</u> )	Ctrl+B
8分 サブグループ( <u>S</u> )	Ctrl+M
16分 サブグループ	
32分 サブグループ	
トレモロ8分( <u>8</u> )	
トレモロ16分( <u>6</u> )	
トレモロ32分( <u>3</u> )	
トレモロ64分( <u>4</u> )	

ボイス1へ	Ctrl+1
ボイス2へ	Ctrl+2
ボイス3へ	Ctrl+3
ボイス4へ	Ctrl+4
ボイス5へ	Ctrl+5
ボイス6へ	Ctrl+6
ボイスフへ	Ctrl+7
ボイス8へ	Ctrl+8

上へ(U) Ctrl+U 下へ(D) Ctrl+D 標準(P)

# トレモロ8分、16分、32分、64分

選択した2つの音符をそれぞれの音価のトレモロで結びます。



上図から見て取れるように、トレモロで音符を繋ぐ場合は、実際に表記する音符の半分の音価 で音符を入力します。MusicScore PRO3 でトレモロを入力する際には、ここがポイントになります のでご注意下さい。

マウスポインタを連桁の両端、または中央に合わせると、ポインタの形が上下の矢印に変化しま す。この状態でマウスをクリックして上下にドラッグすることで、連桁の高さを自由に変えることが できます。



また「Shift」キーを押しながら連桁の両端にマウスポインタを合わせると、今度 はポインタの形が左右の矢印に変化します。

この状態でマウスをクリックして左右にドラッグすることで、連桁の端を延ばす ことができます。



#### ・移調(Ctrl+Shift+P)

選択した範囲の音符を移調します。

## ダイアトニック

移調量を全音単位に切り替えます。

## クロマチック

移調量を半音単位に切り替えます。 上へ

上向きに音符を移調するためのボタンです。 下へ

下向きに音符を移調するためのボタンです。

#### 移調量

移調量を選択します。

## オクターブ

移調するオクターブ値を選択します。



# ・音価変更(Ctrl+Shift+D)

選択した音符の長さ、演奏の長さを変更します。

#### 音符の長さ変更

選択した音符の長さを変更できます。

付点をつける

この項目をチェックすると、付点音符または 複付点音符を選択できます。

## 演奏の長さ変更

演奏する上での音符の長さを変更します。

例えば4分音符を選択した状態で演奏の長さを50%に設定した場合、譜面上では4分音符の表記でも、実際には8分音符の長さで発音されることになります。

## ・連符設定(Ctrl+Shift+L)

選択した音符を必要な種類、形の連符に設定します。

## 連符の種類

連符の種類を選択します。

・標準

標準の連符を選択します。

・その他

任意の連符を設定できます。

## 接続形状

連符の接続形状を選択します。

## 2番目の数字を表示

連符を「3:2」のような形で表示します。

「○:△」の表記について、これは「ある音符△個分のスペースに○個の音符を詰め込む」と いう見方になります。

表記例: 「8分音符2個分のスペースに3個の音符を詰める」



<ul> <li>              日前の長さ変更(0)      </li> <li>             日付点をつける(E)             ① 付点音符(0)             ① 視付点音符(0)             ① 視付点音符(0)             ①      </li> </ul>	<ul> <li>✓ 音符の長さ変更(Ω)</li> <li>■ i i i i i i i i i i i i i i i i i i</li></ul>	変更 択した音符の	)長さをすべて下の	音符に変更し	ます。
□内息をつけると、●内息音符◎	<ul> <li>□ 11点をつける(型)</li> <li>○ 11点を行(型)</li> <li>○ 11点を行(型)&lt;</li></ul>			د د	
	[直接の長さ <u>気</u> 更 <u>い</u> ]     信誉(○) %の長さで演奏します。			<ul> <li>11点音</li> <li>2</li> <li>2</li> <li>4</li> <li>4<td>守(L) 音符(J)</td></li></ul>	守(L) 音符(J)

連符設定		1
∼連符の種類♡──		
●標準(S)	3連符	~
○その他(N)	3 💠 : 2	
接続形状①:	<u>*</u>	•
2番目の数字	を表示(P)	
QK ++:	ンセル(©)	ヽルブ(円)

# ・ベロシティー変更(Ctrl+Shift+V)

選択した範囲の音符のベロシティーを変更します。

#### すべての値を設定

選択範囲内の音の強弱を一律に設定します。

#### 徐々に変更

クレッシェンド、デクレッシェンドのように音をだんだん 大きく、または小さくする場合に利用します。

## 元の値の0%で設定

既に強弱を設定した範囲を全体的に大きく、または小さくしたい場合に利用します。

## すべての値にOを加える

現在の音の強さに、設定した値を加えます。

## ・上の譜表/下の譜表に表示(Ctrl+Alt+U)(Ctrl+Alt+D)

選択した音符を上、または下の譜表に移動します。 ピアノ譜などで譜表をまたがって記譜をする際に利用します。

1、移動したい音符を選択して

「上の譜表に表示」を選択します。





連桁を移動することで下記のような表記も可能です。



すべての値を	99	*	で設定
) 64 💠 から	64		まで徐々に変更
一元の値の			<b>%で設定</b>
)すべての値に		*	を加える

2、選択した部分が上の譜表に移動します。

# ・和音に変換(Ctrl+Alt+C)

複数の単音符を1つの和音に変換する場合に利用します。 和音に変換したい音符を選択し「和音に変換」を実行します。



## ・装飾音に変換(Ctrl+Alt+G)(Shift+Alt+G)

音符を装飾音に変換できます。 右のサブメニューが表示されます。

短前打音に変換(<u>G</u>) Ctrl+Alt+G 長前打音に変換(<u>R</u>) Shift+Alt+G

1. 装飾音に変換したい音符を選択します。

2.「装飾音に変換」を選択して、サブメニューより該当する項目を選択します。



## ・微調整(Ctrl+↑、↓、←、→)

選択した音符の位置、音程を少しずつ調整できます。

## 上へ/下へ

半音単位で音符をずらします。

## 左へ/右へ

少しずつ音符をずらします。

# 5. 小節メニュー

小節単位での編集に関するコマンドをまとめたメニューです。

## ・小節挿入(Ctrl+W)

譜表に新しい小節を挿入します。

節挿入	٥		
挿入する小節数(N) 1 🔄			
小節を挿入する譜表( <u>P</u> )			
♥儲表 1) □億普表 2)	選択しない 譜表にこま 後に空白小節を追加 します。		
<ul> <li>✓ すべての請表に挿入(金)</li> <li>挿入位置</li> <li>小節(S) 3 奈 ▶ ○前に(</li> </ul>	F) ④ 後に(R)		

小節挿入(A)	Ctrl+W	
小節削除( <u>D</u> )		
ブロックの小節数を増やす( <u>I</u> )	Ctrl++	
ブロックの小節数を減らす( <u>0</u> )	Ctrl+-	
拍子変更( <u>T</u> )	Ctrl+F	
調号変更( <u>K</u> )	Ctrl+K	
小節番号(N)		
休符省略/解除(C)		
小節表示属性(⊻)	Ctrl+Shift+M	
スペーシング( <u>5</u> )	Ctrl+J	

#### 挿入する小節数

挿入する小節数を入力します。

小節を挿入する譜表

小節を挿入したい譜表をチェックします。

すべての譜表に挿入

小節をすべての譜表に挿入する場合チェックします。

挿入位置

小節を挿入する位置を指定します。

## ·小節削除

選択した小節を削除します。

# 削除範囲

削除する小節の範囲を決めます。

## 小節を削除する譜表

複数の譜表がある場合、その中でどの譜表の 小節を削除するかをチェックします。

# すべての譜表で削除

小節をすべての譜表から削除する場合にチェック します。

小節削除	<
削除範囲 1 ② から(E) 3 ③ M まで(D)	
小節を削除する譜表(2)	
☑(信表 1) □(信表 2)	
マオペアの神事で道修な(4)	
<u>○</u> K (キャンセル( <u>©</u> ) へルプ( <u>H</u> )	

# ・ブロックの小節数を増やす/減らす(Ctrl++)(Ctrl+-)

カレットが置かれているブロックに対して、次のブロックより1小節繰り上げ、または繰り下げる ことができます。

- <ブロックの小節数を増やす>
- 1. 小節を増やしたいブロックのいずれかの譜表にカレットを置きます。



2. 「ブロックの小節数を増やす」を選択すると、カレットが置かれているブロックの右端に 次のブロックから小節が一つ繰り上がります。



小節が上のブロックの右端に繰り上がります。

1. 小節数を減らしたいブロックの譜表に、カレットを置きます。



2. 「ブロックの小節数を減らす」を選択すると、カレットが置かれているブロックの右端の小節を 次のブロックの左端に繰り越します。



・拍子変更(Ctrl+F)

小節単位で拍子を変更します。

## 小節範囲

変更する小節範囲を決めます。

# 拍子一覧

ここより希望する拍子を選択できます。 下の「基本」項目に数字を入力するこ とでも設定可能です。

拍子変更
小節範囲
1 🕞 から(E) 3 💽 🗎 まで(D)
C ¢ 2 3 4 5 8 8 8 12
表示     混合       ○表示     ○表示       予括弧     5       8<
<ul> <li>記号で表記(S)</li> <li>マ すべての譜表を変更(L)</li> <li>マ 前の譜表の末尾に表示(V)</li> <li>マ 音符を移動する(W)</li> <li>○ 弱起(P)</li> <li>○ K</li> <li>キャンセル(C)</li> <li>ヘルフ<sup>*</sup>(H)</li> </ul>

#### 基本

表示:基本拍子を表示・非表示します。

括弧:基本拍子に括弧を付けます。

**数値入力欄:**上の段に拍数を入力して、その下にあるポップアップメニューから拍の種類を 選択します。

#### 混合

表示: 混合拍子を表示・非表示します。

- 括弧:混合拍子に括弧を付けます。
- **数値入力欄:**上の段に拍数を入力して、その下にあるポップアップメニューから拍の種類を 選択します。

#### 記号で表記

4/4、2/2 拍子の場合にのみ選択できます。

## 前の譜表の末尾に表示

ブロックの先頭小節で拍子が変更されたとき、前のブロックの譜表の末尾にも拍子を表示します。



「基本設定」ウィンドウの「表示」シート中に『拍子記号の変更時、前の譜表の末尾に表示する』という項目が あります。この項目にチェックが入っていないと「拍子変更」ウィンドウで『前の譜表の末尾に表示』をチェッ クしても、譜面に反映されません。(基本設定・表示→102ページ)

#### 弱起

弱起の小節を設定する時にチェックします。

## すべての譜表を変更

この項目のチェックを解除することで、現在カレットが置かれている譜表の拍子のみを変更す ることができます。

※「音符を移動する」にチェックが入っている場合は、譜表ごとに拍子を変えることはできません。

#### 音符を移動する

元々設定されていた拍数から少ない拍数の拍子に変更した場合、小節に収まりきらない音

符を次の小節に繰り越します。4/4 で作成した楽譜を3/4 に変更した場合に、3 拍ごとに小節 線を引き直していくイメージです。

空白の小節があった場合は、そこに休符が入力されているものと見なされます。



## <拍子を変更するには>

- 1. 拍子を変更する小節範囲を設定します。
- 2. 拍子一覧より拍子を選択します。「基本」項目に直接数字を入力することもできます。
- 3. OK をクリックすると、譜表の拍子が変更されます。

#### <混合拍子を設定するには>

#混合拍子とは・・・

単純拍子(2拍子、3拍子)を組み合わせることで構成される拍子を混合拍子と呼びます。 5/8や7/8などがそれに当たります。

例えば 5/8 を「2/8+3/8」というように表記することで、リズム(強拍と弱拍)の取り方を指示することができます。

- 1. 「基本」項目に拍子を入力します。
- 2. 「混合」項目の「表示」をチェックし、その下にある入力ボックスに数字を入力します。
- 実際に有効になる拍子は「基本」項目に入力されたもののみです。「混合」項目に入力した拍子は、あくまで表示のみに留まりますのでご注意ください。「混合」欄に 2/8+3/8 と入力しても、「基本」欄が 4/4 のままだと実際に有効になるのは 4/4 になります。

## <拍子を記号で表示するには>

「基本」の拍子が4/4及び2/2の場合は、記号での表記が可能です。記号で表記するには 「記号で表記」項目にチェックを入れます。または、拍子一覧より選択することでも入力が可能 です。

## ・調号変更(Ctrl+K)

調号を変更します。

#### 小節範囲

調号を変更する小節範囲を設定します。

プレビューウィンドウ 設定した調号を表示します。ウィンドウ右側の

スクロールバーで、調号の選択を行います。

## 音符を移調

音符を移調する場合にチェックを入れます。 また、移調する方向も指定します。「コード

小節範囲	
1 🖙 から(E	) 3 😒 📕 まで(T)
設定	
	☑ 音符を移調(N)
0 \$	●上へ(U) ○下へ(D)
	☑コードネームも移調(E)
	●現在の譜表のみ変更(K)
U Wajor / B Minor	<ul> <li>選択した詰表のみ変更(S)</li> </ul>
<ul> <li>調号を非表示(V)</li> </ul>	○すべての譜表を変更(L)

ネームも移調」にチェックを入れると、音符に付属しているコードネームも一緒に移調します。

## 調号を非表示

チェックを入れることで調号を隠します。

## 現在の譜表のみ変更

現在カレットの置かれている譜表の調号だけを変更します。

#### 選択した譜表のみ変更

選択中の譜表の調号だけを変更します。

すべての譜表を変更

すべての譜表の調号を変更します。

## ·小節番号

小節に番号を振ります。

#### プレビューウィンドウ

「表示位置」の設定結果がウィンドウ内に表示されます。

## 番号を貼り付け

小節番号を付けます。

## 番号を削除

小節番号を削除します。

## 表示位置

小節番号の貼り付け位置を決め ます。

#### 設定

小節番号をどのように割り振るか を設定します。

	小師の(M) 左 ♥ の ⊙上に(U) ○下に(D)
	: 読売との問題(G): 5 (A) ノオノトト
除定	
010小節	ごとにひとつずつ 💿 ブロックごとにひとつずつ
一始めの小節の番	<100 / 550 / 32/ 号を隠す(P) ■番号に枠を付ける(R) ■

<数字譜の調号変更>

これは「1」が「ミ」の音に相当

することを示します。ハ長調 では「1=C」となります。

されます。

数字譜も通常の五線譜と同様に調号を変

更可能です。例えば、調号をホ長調に変 えた場合、数字譜では下図のように表示

1 = E

412

## ·休符省略

休符が連続する小節を省略して表示、またはそれを解除します。

#### 休符省略/省略解除

休符の省略と解除を選択するボタンです。

範囲

省略/解除を適用する範囲を選択します。

表示

休符省略表示のサイズを設定します。

## 繰り返し回数のフォント

繰り返し回数の文字のフォントを指定します。

休符省呣	I/解除	2
<ul><li>● 休符</li><li>● 範囲</li></ul>	<b>省略(P)</b> (当略解除(U))	
0i	胡した小節範囲(S) <>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	
∼表示 – 小	節体符を小節の 50 중 %で表示(⊻) 繰り返し回数のフォント(E	)
	<u>QK</u> (キャンセル( <u>Q</u> ) へルプ( <u>H</u> )	

## <休符省略の設定方法>

 部分的に休符省略を適用する場合、あらかじめ該当する小節を「選択ツール」で囲んで おきます。楽譜全体に適用する場合は、この操作は必要ありません。 選択範囲を示す青色の点線が掛かっている小節が省略対象です。(下図2、3、4小節)



- 「休符省略」ウィンドウの「範囲」欄より、休符省略を適用する範囲を選択します。小節の選択をしていない場合は「楽譜全体」のみが選択可能になります。
- 3. 「表示」欄で小節休符のサイズを指定します。また「繰り返し回数のフォント」ボタンを クリックすると、フォント選択ウィンドウが開きます。
- 4. 「OK」をクリックすると、以下のように休符が省略して表示されます。



## <省略表示を解除する場合>

- 1. 部分的に休符省略を解除する場合は、あらかじめ該当する小節を「選択ツール」で囲ん でおきます。
- 2. 「休符省略/省略解除」ウィンドウより「省略解除」を選択します。
- 3. 「範囲」欄より、休符省略を解除する範囲を選択します。
- 4. 「OK」をクリックすると、休符の省略表示が解除されます。

#### ・小節表示属性(Ctrl+Shift+M)

小節単位で調号や拍子記号などの表示属性を変更します。

#### 表示属性を変更する譜表

表示属性を変更する譜表を選択します。 表示属性を変更する小節

表示属性を変更する小節を選択します。 ※「1小節のみ」にチェックを入れることで最初 の数値入力欄のみが有効になり、ここに入力 した小節だけに効果が反映されます。

#### 設定

調号と拍子記号の表示を設定します。

小節表示屋性	È					X
表示属性を	変更する譜	ŧ				
۲	(譜表 1)				~	
0	1	から(E)		🔷 🕨 まで(T)		
表示属性を	変更する小	ñ				
	1	から©	3	🚖 📕 まで(E)		
	🗌 1小節0	)み(N)				
設定						
	調号( <u>K</u> ):	必要によ	って表示	する。	~	
拍子	F記号(M):	必要によ	って表示	する。	~	
(	<u>O</u> K	++	ンセル(	<ul><li>() 「へルプ()</li></ul>	Ð	

## ・スペーシング(Ctrl+J)

音符の間隔を調整する際に使用します。

#### 小節範囲

間隔を調整したい小節の範囲を設定します。

#### 音符のレイアウト

- ・印刷譜のレイアウト:見た目上、自然な配置に なるように間隔を調整します。
- ・数学的な均等配置: 音価をそのまま間隔に反映 した配置をします。

スペーシング	X
小節範囲	
1 💿 から(E) 3 💽 刘 まで(T)	
音符のレイアウト	
●印刷譜のレイアウト(N)	
○数学的な均等配置(M)	
調整するオプション	
□小節の幅を調整する(₩)	
□ ブロックあたりの小節数を調整する(凹)	

**調整するオプション**(譜表全体を選択した場合に選択可能になります)

・小節の幅を調整する: 音符の密度によって小節幅を自動的に調整します。



・ブロックあたりの小節数を調整する:ブロック内での小節数を見やすい数量に調整します。

## 6. 楽譜メニュー

譜表の追加や楽譜の編成などに関するコマンドをまとめたメニューです。

## •譜表挿入(Alt + D)

ブロックに新しい譜表を挿入します。

挿入数(N): 1 💡	*
譜表の種類(I): 標準的な	û請表 ▶ 設定(P)
入位置	
譜表( <u>S</u> ):	O_LIC@)

# 挿入数

挿入したい譜表の数を設定します。

## 譜表の種類

挿入する譜表の種類を設定します。

## ・標準的な譜表

五線からなる譜表です。



譜表挿入( <u>S</u> ) 譜表削除( <u>E</u> ) スプリット・ノート( <u>L</u> )	Alt+D
再クオンタイズ	Ctrl+Shift+R
譜表属性(⊻)	Ctrl+Shift+S
譜表連結/解除(C)	Alt+Q
譜表を隠す( <u>H</u> )	Ctrl+H
譜表の表示( <u>W</u> )	Ctrl+Num*
ページ挿入( <u>A</u> )	Alt+T
ページ削除( <u>D</u> )	
背景イメージ挿入( <u>B</u> )	
背景イメージ削除( <u>K</u> )	
背景イメージ設定( <u>G</u> )	
オシア( <u>0</u> )	•
楽譜ページレイアウト(E)	•
編成(1)	•

・リズム譜

リズムを記譜するための譜表です。音符は線上に置かれ、音符棒は上向きになります。



## ・ピアノ譜

ピアノ譜表です。ブレイスで連結されます。



## ・ドラム譜

ドラム譜表です。「設定ボタン」をクリックしてドラムマップを編集できます。



## ・一線譜

リズムを表記するための譜表です。音符は線の上、中心、下に置かれます。 「設定ボタン」をクリックしてドラムマップを編集できます。



#### ・タブ譜

タブ譜を表記するための譜表です。「設定ボタン」をクリックするとタブ譜設定ウィンドウが 表示されます。

·数字譜

数字譜を表記するための譜表です。

$$1 = C$$

$$\frac{4}{4}$$
 11123

## 挿入位置

譜表の挿入位置を指定します。

## ·譜表削除

指定した譜表を楽譜から削除します。

## 譜表を選択して削除

削除したい譜表にチェックを入れます。 初期状態ではカレットが置かれた譜表に チェックが入っています。

## 範囲を指定して削除

削除したい譜表の範囲を指定します。

○ 請款 CAL/CC ○ 請款 1)	/ <b></b> /	
(譜表 2)		(キャンセル©)
		ヘルプ(出)

## ・スプリット・ノート

既存の譜表から指定した音程以下の音符を分離して、新しい譜表にコピーまたは移動します。

## 譜表

音符を分離する元の譜表を選択します。 新しい譜表はここで選択した譜表の下に 挿入されます。

#### 移動する音符

- ・OO以下の音符を移動 分離する音の基準音程を設定します。
- ・ボイス単位で移動
   チェックされているボイスの音符を全て
   新しい譜表に移動します。ボイス設定は
   そのまま保持されます。

## 音部記号

新しく挿入する譜表の音部記号を選択します。

## ピアノ譜を作成

元の譜表と新しい譜表をブレイスで連結した大譜表(ピアノ譜)を作成します。

この場合、元の譜表には高音部記号が、新しい譜表には低音部記号が付けられます。

#### コピーする

新しい譜表に元の譜表の音符をコピーする場合にチェックします。

スプリット・ノート 🔀
元の譜表し
譜表(S): (請表1) ▼
移動する音符: <ul> <li>         0 C4 以下の音符を移動     </li> </ul>
○ボイス単位で移動     1     2     3     4       5     6     7     8
音部記号(E)
6 9 B B 6 8 %
□ピアノ譜を作成(2)
□ コピーする(L)
<u>QK</u> (キャンセル(Q) ヘルプ(H)

# ・再クオンタイズ (Ctrl + Shift + R)

MIDI データを読み込む際に、記譜クオンタイズ値 の設定次第では正しく音符が表記されない場合が あります。 その場合は再クオンタイズをかけることで、正しい 音符配置に整理することができます。 (この項目は MIDI データや RCP データ ENC データを読み込んだ時に有効になります。)

# ※クオンタイズ結果は譜面表示にのみ反映 されます。演奏には反映されません。

## 再クオンタイズする譜表

再クオンタイズを適用したい譜表をリストから 選んでチェックを入れます

#### すべての譜表

すべての譜表に再クオンタイズを適用します。

## 小節範囲

再クオンタイズを適用する小節範囲を設定します。

#### 記譜クオンタイズ値

クオンタイズの基準にする音価を選択します。 音価を選択すると同時に、指定範囲に対して再クオンタイズが実行されます。

## •譜表属性(Ctrl + Shift + S)

譜表の種類と音部記号の変更、および譜表単位で音部記号、拍子記号、調号の表示/非表示 を変更することができます。

#### 譜表

属性を変更したい譜表を選択します。変更しよう とする譜表がオシアの場合、この項目にはオシ ア譜の名が表示されます。

## 表示倍率

譜表の表示倍率を設定します。50%~100%間 で任意に設定できます。

## 音部記号を隠す

選択した譜表の音部記号を隠します。

譜表屋性
請表① (請表1)
設定
表示倍率(E): 100 😴 % (50% - 100%)
<ul> <li>□ 音部記号を隠す(£)</li> <li>□ 調号を隠す(½)</li> <li>□ 拍子記号を隠す(∅)</li> </ul>
譜表の種類(Y) 標準的な譜表 ▼ 設定(S)
はじめの音部(1) 🔥 🗸
<u>○K</u> (キャンセル©) へルプ(H)

再クオンタイズ 🔀
再クオンタイズする譜表(P)
☑ (碧表 1) □ (碧表 2)
□ すべての詰表 小節範囲 1 合わら(F) 3 合則まで(F)
記譜クオンタイズ値(公):
<u>QK</u> キャンセル ヘルプ(出)

#### 調号を隠す

選択した譜表の調号を隠します。この状態では「小節表示属性」ウィンドウで 調号を「常に表示する」と設定されていても調号が表示されません

拍子記号を隠す

選択した譜表の拍子記号を隠します。

#### 譜表の種類

選択された譜表の種類を変更できます。 ドラム譜の設定 → 26 ページ タブ譜の設定 → 29 ページ 数字譜の設定 → 30 ページ

#### はじめの音部

譜表の最初の位置にある音部記号を変更します。音部記号入力パレットで音部記号を 選択し、第1小節の音部記号をクリックしても同様の変更ができます。

## ·譜表連結/解除(Alt + Q)

複数の譜表をブレイス、ブラケットなどで連結、または解除します。

小節線、ブレイス、ブラケット、二重括弧の うち、いずれかを選択します。

次に譜表範囲を指定して「連結」をクリック すると、譜表同士を連結することが可能で す。

連結を解除したい場合は、解除したい項目 と譜表範囲を指定して「解除」をクリックして 下さい。

④ 小節線(M) ○ ブレイス(B)		連結(A) 解除(D)
<ul> <li>○ ブラケット(K)</li> <li>○ 二重括弧(Q)</li> </ul>	2	ヘルプ(円)
普表範囲		

# ※二重括弧を表記する際は、最初に「ブラケット」で結合した後に、「二重括弧」で結合します。 ※連結を解除する際は、譜表の範囲を正しく指定しないと正常に行えない場合がありますので ご注意下さい。

#### ・譜表を隠す(Ctrl+H)

カレットが置かれている譜表を隠します。

隠したい譜表をクリックして、カレットをその譜表のいずれかの小節に表示してから 「譜表を隠す」をクリックします。

## ・譜表の表示(Ctrl + テンキーの\*)

隠した譜表を表示します。

隠した譜表があるブロックのいずれかの小節をクリックして、カレットをその小節に表示します。 そのブロックに隠された譜表があれば、「楽譜」メニューの「譜表の表示」コマンドが選択可能に なりますので、「譜表の表示」をクリックすることで隠した譜表を表示できます。

・ページ挿入(Alt + T)

楽譜に新しいページを挿入します。

#### ページ挿入数

新しく挿入するページ数を設定します。

## 空白ページ挿入

五線のない白紙ページを挿入します。 楽譜の表紙などを作成する際に利用できます。

挿入位	置
-----	---

ページを挿入する位置を指定します。指定したページの前(または後)に新しいページが 挿入されます。

## ※新しく挿入されるページの構成は、指定したページと同様になります。

## ・ページ削除

指定したページを削除します。

## 現在のページのみ削除

カレットの置かれたページだけを削除します。

#### 範囲削除(ページ番号)

削除したいページの範囲を指定します。

(°-ジ削除	×
<ul> <li>● 現在のページのみ削除(D)</li> </ul>	
○ 範囲削除(ペー-ジ番号)( <u>G</u> )	
□ <u></u> から(E) □ <u></u> ■ まで(I	2
<u>OK</u> <u>++)t/l/(C)</u> ^/l/7( <u>H</u> )	

ページ挿入	X
ページ挿入数(N): 1 📚	
□空白ページ挿入(E)	
挿入位置	
ベージ(P): 1 📀 🖬 🔿 前に(B)	
<ul> <li>③ 後に(F)</li> </ul>	
	2
QK [++ンセル(Q)] ヘルブ(H)	

## ・背景イメージ挿入

楽譜にイラストを挿入します。 「背景イメージ挿入」にて挿入したイラストは、楽譜のすべてのページに表示されます。

参照をクリックすると「ファイルを開く」 ウィンドウが表示されます。ここより挿入し たい画像データを選択します。 プレビューウィンドウには選択した画像が 表示されます。

## イメージサイズ

画像を挿入する際に、もともとの画像サイズのままにするか、またはページ全体に 拡大するかを指定します。

- イメージサイズ ◎本来のサイズにする@ ○ページサイズに合わせる仏
<ul> <li>ヘルゴ他)</li> <li>(キャンセルC</li> </ul>

## ・背景イメージ削除

挿入したイメージを削除します。

## ・背景イメージ設定

挿入したイメージの明るさ、コントラスト、サイズ、位置を変更します。

## 明るさとコントラスト

スライダーを動かして明るさとコントラストの変更が可能です。

## ページサイズに合わせる

挿入した画像をページ全体に拡大 します。

#### 縦横比の保持

画像サイズを変更する際に、水平と垂 直の比率を固定した状態で変更しま す。

暴イメージ設定	(
明るさとコントラスト	ヘルプ(H)
明るさ(-255から255まで) 0	
コントラスト(-100から100まで) 0	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
- □ページサイズに合わせる④	
□縦横比の保持(S)	
水平サイズ 494 🝨 水平位置 0 🝨	
垂直サイズ 398 🌪 リセット(R) 垂直位置 0 🌪	(キャンセル( <u>C</u> )

水平/垂直サイズ、水平/垂直位置にそれぞれ数値を指定します。数値を変更した結果は すぐに画面上に反映されます。

## ・オシア

オシア譜を作成します。 このコマンドには右のサブグループがあります。

# **オシア作成(<u>M</u>)...** オシア削除(<u>D</u>)

X

~

📚 🗏 まで(T)

ヘルブ(円)

📚 % (50% - 100%)

キャンセル(<u>C</u>)

# オシア作成

# ・元になる小節

オシア譜の元になる譜表と小節を 指定します。

# ·表示倍率

オシア譜の表示倍率を設定します。 50%~100%間で任意に設定することが できます。

## ・音部記号を隠す

作成するオシア譜から音部記号を 隠します。

・調号を隠す

作成するオシア譜から調号を隠します。

・拍子記号を隠す

作成するオシア譜から拍子記号を隠します。

・左側縦線を書く

作成するオシア譜の左端に小節線を引きます。

## オシア削除

オシア譜にカレットを置いた状態で「オシア削除」を選択すると、オシア譜を削除できます。

オシア作成

設定

元になる小節

譜表(S) (譜表 1)

表示倍率(E): 80

□ 調号を隠す(K)
□ 拍子記号を隠す(D)

音部記号を隠す(B)

□左側縦線を書く①

OK(O)

小節 1 🕭 から(E) 1

# ・楽譜ページレイアウト

楽譜のレイアウトを設定します。 右のサブメニューがあります。

ブロックあたりの小節数( <u>Z</u> )	Ctrl+Shift+G
ページあたりのブロック数(P)	Ctrl+Shift+F

## ブロックあたりの小節数(Ctrl + Shift + G)

ブロックの小節数を変更します。

## 小節数

譜表の小節数を設定します。

ブロックあたりの小節数 🔀
小節數(11): 3 💽
●現在のブロックのみ変更(S)
○すべてのブロックを変更心
<u>QK</u> (キャンセル(Q) へルプ(H)

## 現在のブロックのみ変更

カレットの置かれたブロックの小節数だけを変更します。 ブロックの小節数を増減するには「小節」メニューの「ブロックの小節数を増やす/減らす」 を利用する事もできます。

## すべてのブロックを変更

すべてのブロックの小節数を変更します。

# ※設定した小節数で割り切ることができずに余った分の小節は、そのまま 最後のブロックに組み込まれます。なので、最後のブロックの小節数は 必ずしも設定値と同じにならないことに注意してください。

#### ページあたりのブロック数(Ctrl + Shift + F)

ページのブロック数を変更します。

#### ブロック数

ページあたりのブロック数を設定します。

#### 現在のページのみ変更

カレットの置かれているページのブロック数だけを変更します。

#### すべてのページを変更

すべてのページのブロック数を変更します。

# ※「ブロックあたりの小節数」と同じく、設定したブロック数で割り切ることができずに 余った分のブロックは、そのまま最後のページに組み込まれます。 なので、最後のページのブロック数は必ずしも設定値と同じにならないことに 注意してください。

#### ・編成

譜表、音符などの間隔を調整します。 右のサブメニューがあります。

## 譜表の既定間隔(Alt + Y)

譜表の間隔を既定値に合わせます。

# ブロックの既定間隔(Alt + U)

ブロックの間隔を既定値に合わせます。

▶ 基本設定メニューの「規格タブ」で設定した数値が「規定値」として設定されます。

9	譜表の既定間隔( <u>S</u> )	Alt+Y	8
	ブロックの既定間隔( <u>B</u> )	Alt+U	
	ブロックを左のページラインに合わせる( <u>L</u> )	Alt+I	
	小節幅の均等割付(A)		

ページあたりのブロック数

ブロック数(K) 5

現在のページのみ変更(P)
 すべてのページを変更(G)

QK キャンセル(Q) ヘルブ(H)

-

X

# ブロックを左のページラインに合わせる(Alt+I)

現在のページにおいて、すべてのブロックを左側のページラインに合わせて整列します。

## 小節幅の均等割付

現在カレットがあるブロック、または選択されたブロック内の楽譜の小節幅を均等割付にします。

# 7. 設定メニュー

動作全般に関する設定を行います。

# ・MIDI 入出力ポート設定

(DI入出力术	一卜設定
~出力ポート(	P)
⊙ Musi	ー cScoreシンセを使用 発音タイミングの高速化
	ASIO DirectX Full Duplex Driver
O MIDI	ポートを使用
	Microsoft GS Wavetable SW Synth 💌

MIDI入出力ポート設定( <u>M</u> ) MIDIファイル読み込み/録音設定( <u>R</u> )	
メトロノーム音設定( <u>T</u> )	
基本設定(0)	Alt+L
✔ 録音時メトロノーム音出し	
✓ プレイバックフォロー( <u>F</u> )	Alt+K
✓ 自動伴奏をする(A)	Alt+A
リピート演奏(₽)	
✓ 連桁の自動連結(B)	Alt+B
✓ 自動間隔調整(D)	Alt+J
✓ 編集音を出す( <u>S</u> )	Alt+P
エラーを表示する( <u>E</u> )	
マルチページ(U)	
✓ ブロックの自動調節( <u>C</u> )	

このウィンドウでは、MusicScore PRO3 が演奏の際に使用する音源の指定などを行います。

# ●MusicScore シンセを使用

MusicScore PRO3 にて新たに搭載された音源を使用して楽譜編集および演奏を行います。 また、楽譜を WAVE ファイルで書き出す際には「MusicScore シンセ」に搭載された音色データ を使用します。なので、WAVE ファイルでの書き出しを想定して楽譜作成をする場合は、 「MusicScore シンセを使用」を選択することをお勧めします。

# ※「MIDIポートを使用」が選択された状態でも、WAVEファイル書き出しには影響ありません。

## <発音タイミングの高速化について>

お使いのパソコンに搭載されているオーディオ機能が「ASIO」と呼ばれる規格に対応している 場合、この項目がチェック可能になります。リストボックスでは ASIO 対応デバイスを選択すること ができます。

※ MIDIキーボードを用いてリアルタイム入力を行う際に、通常では鍵盤を押してから音が出る までに若干の時間がかかってしまいます。しかし、この項目にチェックが入った状態では鍵盤を 押した瞬間に発音することが可能になります。ASIO規格に対応したオーディオ機能が搭載され ていない場合は、この項目は選択不可の状態になります。

ASIO 規格に対応したオーディオカードは電子楽器を取り扱っている楽器店、またはパソコンショップの電子楽器コーナー等でお求め頂けます。これらのオーディオカードにつきまして、詳しくはお店の方にお尋ね下さいますようお願いいたします。

#### ●MIDI ポートを使用

Windows に標準で搭載されている音源、もしくは外部に接続した MIDI 機器を選択します。 パソコンに MIDI インターフェースを接続した場合は、リストボックスよりそれらの機器を選択可能 になります。

#### ●入力ポート

MIDI キーボードなどの MIDI 入力機器を接続した場合は、このリストボックスより機器の選択が 可能になります。

#### ・MIDIファイル読み込み/録音設定

MIDI ファイルを読み込む際に必要なオプションを設定します。

#### 記譜クオンタイズ値

MIDIファイルを読み込んで記譜する際の、音符の最小値を指定します。ここで指定した音符より 短い音符は正確に記譜されませんので注意して 下さい。また、クオンタイズ値はリアルタイムレコ ーディングの結果にも反映されます。

MIDIファイル読み込み/録音設定	X
記譜クオンタイズ値(公:	
●トラックを請表にする(1) 注: 演奏時音色が再現されない場合があります。	
○ チャンネルを譜表にする(止)	
<u>K</u> (≠+ンセル©) へルブ(H)	

記譜クオンタイズ値を8分音符に設定した場合、読み込みたい MIDI ファイルに16分音符が あったとしても、それらはすべて8分音符で記譜されてしまいます。 例えば、16分音符4つの連打は、8分音符ふたつにまとまった状態で表記されます。 これは「再クオンタイズ」を使用することで後から解決することが可能です。 なので、ここの値にはある程度細かな音符(16分や32分)を指定しておくことをお勧めしま す。ただしその場合、無用な休符まで表記してしまうこともありますので注意して下さい。

#### トラックを譜表にする

フォーマット1の MIDI ファイルは、ひとつのファイルに複数のトラックを持っています。 この項目をクリックすると、トラックごとに譜表を分けて記譜します。

MusicScore PRO3 で保存した MIDIファイルを読み込む場合は、このオプションを使用する ことをお勧めします。フォーマット0の MIDIファイルをこのオプションで読み込むと、音色が 変わる場合があります。

#### チャンネルを譜表にする

フォーマット0の MIDI ファイルは、すべてのチャンネルのデータがひとつのトラックにまとまっています。この項目をクリックすると、チャンネルごとに譜表を分けて記譜します。 フォーマット0の MIDI ファイルを読み込む時は、このオプションを使用することをお勧めし

ます。

「OK」ボタンをクリックすると設定が有効になります。以後、MIDIファイルを読み込む場合にはこのオプションが適用されます

#### ≪トラックとチャンネルについて≫

「トラック」とは、MusicScore PRO3 における「譜表」に当たります。また「チャンネル」は譜表設定 における「チャンネル」がそのまま当てはまります。

「フォーマット1」の規格では、トラック(譜表)とチャンネルの情報が保たれたまま保存されます。 一方「フォーマット0」は、すべての情報が1本のトラックにまとめられる仕様になっています。

## ・メトロノーム音設定

録音する際に出すメトロノーム音の設定を行います。

#### チャンネル

メトロノームを再生する MIDI チャンネルを 設定します。

ピッチ

メトロノーム音のピッチ(音色)を設定します。 強弱

メトロノーム	音設定				X	3
~メトロノーム	音					
	チャンネル	・ ビッチ	f	強弱		
1拍目	10 🚖	F#3	~	127	-	
その他の抽	È	F#3	~	100		
<u>о</u> к	- ++)	νセル©		へルコ	э́( <u>H</u> )	

メトロノーム音の強弱を設定します。

MIDI 音源に「Microsoft GS Wavetable (SW) Synth」を使用している場合は上図の設定において「タンバリン」の音がメトロノーム用の音として鳴ります。

1拍目に「A#1」、その他の拍に「A1」を設定することで、メトロノームの「チーンカッカッカ」の音が鳴ります。

## ※どのピッチに何の音が割り振られているかは「ドラムマップ」にて確認することができます。

・基本設定(Alt + L)

楽譜全体の表記に関する様々な設定を行います。

ここで設定した値は、楽譜を編集する際の規定値として作用します。

#### 表示

音部記号や調号などの表示形式を設定します。

本設定								
表示	ボイス カラー	フォント	タイノスラー	間隔	規格	演奏	括弧	数字譜
	単一譜表の場合	、左端の小	節線を表示す	- ଅଟି				
	まべてのブロック	りに音部記	号を表示する(	<u>B</u> )				
	曹表名(N)							
	⊙ 始めのべ	ージのみ表	示する(F)					
	○すべての	ページに表	示する(P)					
	周号を変更する	時、前の調	号を取り消す(	<u>k</u> )				
	○小節線の	前に表示(し	D.					
	● 小節線の	後に表示し	Ď.					
	間号の変更時、	前の譜表の	床尾に表示す	-Z(L)				
<b>⊻</b> ‡	白子記号の変更	時、前の譜	表の末尾に表	伝する(1	2			
	間号変更時に、	該当する音	符に井・bを引	鯯表示す	tる₽			
	<u>O</u> K	++)	セル(C)	ヘルプ(	(H)	適用	3( <u>A</u> )	

# 単一譜表の場合、左端の小節線を表示する

この項目は、譜表の数がひとつの時だけ有効です。 チェックすると、譜表の左端に小節線が引かれます。

#### すべてのブロックに音部記号を表示する。

楽譜中の全ブロックの先頭小節に音部記号を表示します。

#### 譜表名

この項目をチェックすると、次のふたつの項目が選択可能になります。

・始めのページのみ表示する 譜表名を1ページ目にだけ表示し、2ページ目からは表示しません。 ・すべてのページに表示する

譜表名をすべてのページに表示します。

## 調号を変更する時、前の調号を取り消す

調号の変更される部分にナチュラル記号を付けます。

・小節線の前に表示

変更される部分のナチュラル記号を、小節線の前に付けます。

・小節線の後に表示

変更される部分のナチュラル記号を、小節線の後に付けます。



ホ長調からニ長調に変更した場合の表記例。 ナチュラル記号は「小節線の後に表示」に設定。

#### 調号の変更時、前の譜表の末尾に表示する

各ブロックの先頭小節で調号の変更があった場合に、その調号を前の譜表の末尾にも 表示します。

#### 拍子記号の変更時、前の譜表の末尾に表示する

各ブロックの先頭小節で拍子記号の変更があった場合に、その拍子記号を前の譜表の 末尾にも表示します。



「前の譜表の末尾に表示する」にチェックを入れた場合の、調号と拍子記号の表示例

## 調号変更時に、該当する音符に#、bを強制表示する

ハ長調、およびイ短調以外の調に設定された譜表にて、入力された音符に対して 常に臨時記号を表示することができます。



※見方によっては混乱を招きますので注意してください。

## ボイス

ボイスごとの符尾の向きと休符の表示/非表示を設定します。

本設定						
表示「ボイス」	カラー   フォント	タイ / スラー	間隔  規格	演奏	括弧	数字譜
	音符尾の向き		音符	休符		
ボイス1(1)	)自動	<b>v</b>	]表示	☑ 表示		
ボイス2位	) 上へ [·	<b>~</b>	表示	☑表示		
ボイス3(3)	) 下^ [·	<b>v</b>	表示	☑ 表示		
ボイス4(4	)自動	<b>~</b>	表示	☑表示		
ボイス5(5)	) 上へ [·	<b>v</b>	表示	☑ 表示		
ボイス6値	) 下^ [	<b>v v</b>	表示	☑表示		
ボイス702	)自動	<b>v</b>	表示	☑ 表示		
ボイス8( <u>8</u>	) 上へ [	<b>v</b>	表示	☑ 表示		
Q	K =++	ven©	ヘルゴ(出)	適用	( <u>A</u> )	

#### 音符尾の向き

ボイスごとの音符尾の向きを設定します。ここでの設定は「適用」をクリックした後より 入力される音符から反映されます。

# 「音符尾の向き」が「標準」以外の場合、そのボイスにて入力されるタイ・スラーは 常に音符尾の先端側に表示されます。

#### 音符を表示

この項目のチェックを外すと、該当するボイスの音符が表示されなくなります。

#### 休符を表示

この項目のチェックを外すと、該当するボイスの休符が表示されません。

- チェックを外したボイスの音符または休符は、コントロールパネルのボイス設定ボタンで 該当するボイスが選択された場合にのみ表示されます。
- 小節にもともと表示されている全音休符は、ボイス8に属しています。 この休符を非表示にするには、ボイス8の休符チェックを外してください。

楽譜の要素ごとに表示させたいカラーを設定します。 この設定は楽譜全体に適用されますので、個別にカラーを設定するには 「入力ツールバー」の「カラーパレット」を参照してください。(45 ページ)

基本設定		D
表示 ボイス カラー フォント タイノスラー	間隔月根格演奏「括弧	数字譜
状態	項目の	
背泉       1 2 3 4 5 6 7 8 非設定が(ス)       すべてリセット(D)	ボイス1  ボイス2  ボイス3  ボイス4  ボイス5  ボイス5  ボイス5  ボイス7  ボイス7  ボイス8   球時定ボイス   すべて① カラー(B): ■	
<u>QK</u> (キャンセル( <u>©</u> )	ヘルブ(出) 適用(A)	]

#### 状態

楽譜に表示されるカラーをプレビューします。

#### すべてリセット

このボタンをクリックすると、楽譜要素のカラーをデフォルト値に設定します。

#### 項目

リストの各項目に対してカラーを設定します。

#### ボイス1~8

カラーを設定したいボイスにチェックを入れて、右下のカラーリストより色を選択します。 「適用」をクリックすると、そのボイスにて入力した音符、休符の色を変更できます。

#### 非設定ボイス

ボイスタブにて各ボイスを個別に表示した際に、現在選択されていないボイスのカラー を設定します。(例えば、ボイスタブで「ボイス1」を選択した場合に、ボイス2~8にて入 力した音符がここで設定した色で表示されます)

#### 背景

楽譜の背景カラーを設定します。

#### オシア譜

オシア譜の五線や音部記号などのカラーを設定します。

譜表

指定した譜表の五線、音部記号などのカラーを設定します。

#### すべて

この項目をチェックすると、リストにすべての項目にチェックが入ります。

#### カラー

設定したい色を選択します

## フォント

記号や歌詞、テキストなどのフォントを項目ごとに設定します。

基本設定	×
表示     ボイス     カラー     フォント       項目 ①:     「取詞       □ ード       : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	タイ/スラー 間隔 規格 演奏 括弧 数字譜 フォント(E): サイズ(S) Microsoft Sans Serif ▼ 12 ▼ B 7 U カラー(B): ▼ 例 D.C. al Coda
<u>QK</u> =++>	tzw@) ヘルゴ(H) 適用(A)

## 項目

リストより変更したい項目にチェックを入れます。 各項目が示す部分は以下になります。

- 歌詞 ··· 歌詞
- **コード** ··· コードネーム
- **譜表名** … 譜表名
- 小節番号 … 小節番号
- 文字反復記号 … 文字反復記号(Coda や Segno など)
- エンディング … エンディング(繰り返し括弧)
- 速度記号 ··· 速度記号
- 空テキスト … テキスト入力時のデフォルトとなるフォント
- ・数字譜の数字 … 数字譜表に入力する数字
- ・ 数字譜の調号 … 数字譜表に付属する調号
- · 発想標語 … 発想標語

すべてリセット

すべてのフォントを初期状態に設定します。

# タイ/スラー

タイ/スラーの形を編集します。

表示 ボイス カラー フォン	トタイノスラー	間隔	規格	演奏	括弧	数字譜
	□① 符頭から	の水平	位置		1	
	🗌 (2) 符頭から	の弧のi	高さ		1 🗘	
	🗌 ③ 湾曲度				0	
	🗌 (4) 線の幅					
すべてリセット(D)		単位は3	「線の線	間の間隔	島の1/16	)

## 符頭からの水平位置

符頭からの水平間隔を設定します。この値が+であれば符頭の右側、- であれば符頭 の左側を意味します。

## 符頭からの弧の高さ

符頭からの垂直間隔を設定します。この値が+であれば符頭の下側、-であれば符頭 の上側を意味します。

#### 湾曲度

タイの曲り具合を設定します。

#### 線の幅

タイの線幅を設定します。

## すべてリセット

すべての値を初期値に設定します。
#### 間隔

記号、音符、譜表やブロックの間隔などを設定します。 各項目番号と図中の番号が、それぞれ対応しています。

基本設定		×		
表示 ボイス カラー フォント タイ	/スラー 間隔 規格 演奏	括弧数字譜		
	(1) 小節線と音部記号の間	2 🗢		
	<ul> <li>(2) 音部記号と調号の間</li> <li>(4) III - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2</li></ul>	4 🚖		
2 4 alerta	(3)調号の間	1 📚		
	(4)調号と拍子記号の間	4 🚖		
	(5) 拍子記号と音符の間	4 📚		
1 1 1 2 4 5 7 8	(6) 臨時記号と音符の間	2 📚		
	(7) 付点と音符の間	3 🚓		
(単位は五線の線間の間隔の1/4)	(8) 小節線と音符の間	7 🚓		
	<li>(9) 後ろの小節線と音符の間</li>	4 🐡		
すべてリセットの				
QK (キャンセル(Q) ヘルプ(出) 適用(A)				

#### すべてリセット

すべての値を初期値に設定します。

#### 規格

楽譜のサイズ、余白、インデント、譜表サイズなどを設定します。 各項目番号と図中の番号が、それぞれ対応しています。

基本設定			×	
表示 ボイス カラー フォント タイ	/スラー 間隔 規格	演奏 打	刮狐 数字譜	
	<ol> <li>(1) 楽譜サイズ(幅)</li> <li>(2) 楽譜サイズ(高さ)</li> <li>(2) 余白(左)</li> <li>(4) 余白(右)</li> <li>(5) 余白(上)</li> <li>(6) 余白(上)</li> <li>(6) 余白(下)</li> <li>(7) 諸表サイズ</li> <li>(8) インデント(上)高さ</li> <li>(9) 諸表の間</li> </ol>	1820       ◆         2570       ◆         220       ◆         200       ◆         250       ◆         6       ◆         200       ◆         8       ◆	× 0.1 mm × 0.1 mm × 0.1 mm × 0.1 mm × 0.1 mm × 0.1 mm × 1 mm × 0.1 mm × 5.3線間隔	
✓印刷用紙サイズに合わせる(E)	(10) ブロックの間	10 📚	× 五線間隔	
●縦(P) ○横(L)	(	すべてい	evr(D)	
<u> QK</u> (キャンセル(Q) ヘルゴ(H) 適用(A)				

「印刷用紙サイズに合わせる」がチェックされている場合は、楽譜サイズの設定ができません。

#### 譜表の間

ブロック内の譜表の間隔を設定します。

#### ブロックの間

ページ内のブロックの間隔を設定します。

#### すべてリセット

すべての値を初期値に設定します。

#### 印刷用紙サイズに合わせる

#### <このメニューがチェックされている場合>

作成中の楽譜を「プリンタの設定」ウィンドウにて選択した印刷用紙サイズに合わせて拡大 あるいは縮小して印刷します。

#### ※「楽譜サイズ(幅)」と「楽譜サイズ(高さ)」項目が設定不可能になります。

#### <チェックが外れている場合>

すぐ下のリストボックスから用紙サイズを選択可能になります。 ここで設定した楽譜サイズが、実際に印刷に使う用紙サイズより大きい場合には 楽譜を複数に分割して印刷します。これを合わせると1枚の大きな楽譜になります。 どのように分割されるかは、印刷プレビューで確認できます。

#### 演奏

音符、および譜面上に強弱記号やアーティキュレーション記号を付加した際の ベロシティー、または演奏の長さを任意に設定できます。

基本設定	
表示 ボイス カラー フォント タ	イノスラー 間隔 規格 演奏 括弧 数字譜
→ 登弱記号演奏	▼アーティキュレーション演奏
PPP の強弱値 48 🔮	
PP の強弱値 64 🔮	∧ ベロシティーに 40 毫 を加える
P の強弱値 76 🔮	> ベロシティーに 20 😴 を加える
mp の強弱値 84 🔮	
mf の強弱値 96 🔮	- 演奏の長さを 95 🚭 %1に設定
f の強弱値 110 🔮	・ 演奏の長さを 75 🌩 %1に設定
ff の強弱値 120 🔮	✓ 演奏の長さを 50 ▲ %に設定
fffの強弱値 127	
☑メトロノーム演奏	すべてリセットの
<u>K</u> =+ャンセ	ル© ヘルブ(H) 適用(A)

#### 強弱記号演奏

この項目をチェックすると、これらの記号による演奏効果が有効になります。

#### 強弱値

各記号の強弱値を設定します。この項目には1から127までの値を設定できます。

#### メトロノーム演奏

この項目をチェックすると、テンポ記号が演奏に反映されます。

#### アーティキュレーション演奏

この項目をチェックすると、枠内に示された5種類の記号を使用した際の演奏効果が 有効になります。

#### ベロシティーに〇〇を加える

音符に対してこれら2種類の記号を付加した際、ここに入力された値が演奏の強さに 反映されます。

#### 演奏の長さを00%に設定

音符に対してこれら3種類の記号を付加した際、ここに入力された値が演奏の長さに 反映されます。

#### すべてリセット

すべての値を初期値に設定します。

#### 括弧

大譜表括弧(ブレイス)の形を設定します。

基本設定				
表示 ボイス カラー フォント タイ / スラー	間隔	規格 演奏	括弧	数字譜
	横	: 1	iž	
<ol> <li>(1) 先端の外側</li> </ol>	11	23	*	
②先端の内側	58	<b>\$</b> 64	×	
<ul> <li>③ ボディの外側</li> </ul>	17	€ 19	\$	
(4) ボディの内側	62	\$ 54	٢	
(5) 括弧の横幅	32	Ŷ		
(すべてリセット( <u>D</u> ))				
QK (キャンセル(Q) ヘルプ(出) 適用(A)				

各項目の数値を変更すると、プレビューウィンドウのブレイスの形が変化します。

#### すべてリセット

すべての値を初期値に設定します。

#### 数字譜

数字譜面のレイアウトを調整します。 各項目番号と図中の番号が、それぞれ対応しています。

基本設定			×
表示 ボイス カラー フォント	タイ / スラー 間隔 規格 演奏	括弧	数字譜
$ \begin{array}{c}                                     $	<ul> <li>① 1 調号と小節上端の間</li> <li>② 調号と小節左端の間</li> <li>③ 調号のサイズ</li> <li>④ 数字音符のサイズ</li> <li>⑤ オクターブ点のサイズ</li> <li>⑤ オクターブ点と数字音符の間</li> <li>⑦ 付点のサイズ</li> <li>◎ 付点の方が必ず音符の間</li> <li>⑨ 下線の幅</li> <li>① 10 下線の</li> </ul>	12 0 12 16 3 2 3 2 1 1	4> 4> 4> 4> 4> 4> 4> 4> 4> 4> 4> 4> 4>
すべてリセット(型)	(単位は五線の線間の間隔の	1/4)	
<u>O</u> K ++2	セル② ヘルゴ(出) 適用	( <u>A</u> )	

#### すべてリセット

すべての値を初期値に設定します。

数字譜タブでは、数字譜固有の表記に関わるレイアウトについて調整が可能です。その他の 全般的な間隔調整は「間隔タブ」にて行います。

#### ・録音時メトロノーム音出し

リアルタイム入力をする時にメトロノーム音を出します。 MusicScore PRO3 では、リアルタイム入力時のカウントダウン小節数が、1小節に固定されてい ます。レコーディングをスタートすると、メトロノームが1小節分鳴ります。

#### ・プレイバックフォロー(Alt + K)

楽譜を演奏する際、その演奏位置に従ってカレットが移動します。

#### ・自動伴奏をする(Alt + A)

楽譜を演奏する際、入力したコードネームとリズムによって自動伴奏を行います。

#### ・リピート演奏

楽譜を最後まで演奏したら再び初めから演奏が繰り返されます。

#### 連桁の自動連結(Alt + B)

8分~128分音符の入力時に、自動的に連桁を設定します。

#### ・自動間隔調整(Alt + J)

入力された音符をその音価によって自動的に小節内の適切な位置に配置します。 この項目がチェックされていると、ひとつの小節内に拍数より多く音符を入力することが できません。拍数より多い音符を入力する際にはこのチェックを解除してください。

#### ※拍数より多くの音符を入力した場合は、正常な演奏がされなくなります。

#### ・編集音を出す(Alt + P)

音符を入力する際に音を出します。

#### ・エラーを表示する

音符が拍数より少ない、または多すぎる小節内の音符が赤色に表示されます。ただし弱記になっている小節は除外されます。これを使用して、編集時のエラーを防ぐことができます。

#### ・マルチページ

楽譜が2ページ以上ある場合に、巻物を見るような感覚で閲覧することができます。 チェックが外れている場合は、1ページずつ表示されます。

### ・ブロックの自動調節

譜表を追加した際にページからはみ出してしまうブロックを、次のページに自動的に 繰り越します。



<ブロックの自動調節がオフの場合>

左の楽譜に譜表をひとつ追加した場合、右の楽譜のように4ブロック目以降がページから はみ出してしまいます。



#### <ブロックの自動調節がオンの場合>

はみ出したブロックを自動的に次のページに繰り越します。

### 8. ウィンドウメニュー

#### ・重ねて表示

複数の楽譜ファイルを開いている場合、それらを重ねて表示します。

#### ・並べて表示

複数の楽譜ファイルを上下に並べて表示します。

#### ・アイコンの整列

最小化した楽譜ウィンドウを画面下方に整列させます。

#### ・すべて閉じる

開いている楽譜ファイルをすべて閉じます。

#### 9. ヘルプメニュー

#### ・目次(F1)

MusicScore PRO3 のヘルプファイルを開きます。

#### •MusicScore PRO3 について(Alt + F1)

ユーザー名と更新日時を表示します。

#### ・ホームページ

株式会社ミュージックスターのホームページにアクセスします。 ※インターネットに接続できる環境が必要です。

ファイルメニュー	
新規作成	Ctrl + N
開く	Ctrl + O
上書き保存	Ctrl + S
イメージパラメータの設定	Ctrl + Alt + X
イメージとして保存	Ctrl + Alt + Z
印刷	Ctrl + P
終了	Alt + F4

編集メニュー		
元に戻す	Ctrl + Z	
やり直し	Ctrl + Y	
切り取り	Ctrl + X	
⊐ピー	Ctrl + C	
貼り付け	Ctrl + V	
クリア	Del	
ページ選択	Ctrl + A	

表示メニュー	
標準バー	Shift + F9
入力ツールバー	Ctrl + F9
音部記号	F3
音符	F4
アーティキュレーション	F5
オーナメント	F6
強弱記号	F7
繰り返し記号	F8
ツールボックス	F9
タブ譜	F10
図形	F11
カラー	F12
コードネームの選択	Ctrl + Alt + A
リズムの選択	Ctrl + Alt + S
また 書式バー	Ctrl + F10

イメージバー		Ctr	l + F11
譜君	長設定	Shift + F6	
プレイコントロ	コール	Ctrl + Shift + Enter	
描	き直し	Ctr	I + R
1	ンドル	Alt	+ C
リズム		Alt + R	
イメージバー		Ctrl + F11	
譜君	表設定 Shi		ft + F6
	2	00%	Ctrl + Shift + 2
拉士统小	100%		Ctrl + Shift + 1
加入脑小		面に	
	合わせる		Utri + Snift + Z
イメージ表示		Alt	+ 2

音符メニュー		
音符属性		Ctrl + I
臨時記号	異名同音	Ctrl + E
竹尾の向き	上へ	Ctrl + U
付尾の向さ	<u></u> ጉ^	Ctrl + D
ボイス移動	ボイス1~8へ	Ctrl + 1~8
タイ		Ctrl + T
スラー		Ctrl + L
	解除	Ctrl + Q
<b>`声</b> 北:	グループ	Ctrl + G
建机	拍子通りに	Ctrl + B
	8分サブグループ	Ctrl + M
移調		Ctrl + Shift + P
音価変更		Ctrl + Shift + D
連符設定		Ctrl + Shift + L
ベロシティー変更		Ctrl + Shift + V
上の譜表に表示		Ctrl + Alt + U
下の譜表に表示		Ctrl + Alt + D
和音に変換		Ctrl + Alt + C
壮欲之仁亦悔	前打音に変換	Ctrl + Alt + G
※助百に変換	長前打音に変換	Shift + Alt + G
	上へ	Ctrl + ↑
2些作言田 東女	下へ	Ctrl + ↓
1 成 词 笠	左へ	Ctrl + ←
	右へ	$Ctrl + \rightarrow$

小節メニュー	
小節挿入	Ctrl + W
ブロックの小節数を増やす	Ctrl + +
ブロックの小節数を減らす	Ctrl + —
拍子変更	Ctrl + F
調号変更	Ctrl + K
小節表示属性	Ctrl + Shift + M
スペーシング	Ctrl + J

楽譜メニュー		
譜表挿入		Alt + D
譜表属性		Ctrl + Shift + S
譜表連結/解除		Alt + Q
譜表を隠す		Ctrl + H
譜表の表示		Ctrl + NumLock *
ページ挿入		Alt + T
ぶ諩ペ♡↓.ノマ甴⊾	譜表あたりの小節数	Ctrl + Shift + G
米面ページレイプリト	ページあたりのブロック数	Ctrl + Shift + F
	譜表の既定間隔	Alt + Y
編成	ブロックの既定間隔	Alt + U
	ブロックをページの中心に置く	Alt + I

テキスト・歌詞ウィンドウ		
小節テキスト	Ctrl + Alt + Q	
ページテキスト	Ctrl + Alt + W	
歌詞	Ctrl + Alt + E	
テンポ記号	Ctrl + Alt + R	

設定メニュー	
ファイル設定	Alt + L
プレイバックフォロー	Alt + K
自動伴奏をする	Alt + A
連桁の自動連結	Alt + B
自動間隔調整	Alt + J
編集音を出す	Alt + P

ヘルプ	
目次	F1
MusicScore PRO3 について	Alt + F1

マウスポインタ		
選択	F2	
消去	F2 + Shift	
入力	F2 + Ctrl	

演奏		
始めから演奏	Ctrl + Space	
演奏	Space	
停止	Space	
始めから演奏	Ctrl + Space	

ウィンドウ切り替え		
楽譜ウィンドウの切り替え	Ctrl + Tab	

# ScanMusic 操作説明

### ScanMusic について

お手持ちのスキャナを用いて、譜面を手軽に楽譜データとして扱うことができるようにすることが 可能な楽譜認識ソフトです。データ化した譜面は MusicScore PRO3 での編集が可能です。





ScanMusic は大きく4つの部分に分けられます。

- ① メニューバー : 124 ページ
- ② 画像リスト : 128 ページ
- ③ 認識結果 : 128 ページ
- ④ 認識元画像 : 128 ページ

### 楽譜をデータ化する

ウィザードを使えば、画面の指示に従って操作するだけで簡単に変換作業を行えます。

#### 操作手順

- 1. 読み取りたい譜面をスキャナにセットします。
- 2. メニューバーの左にあるウィザードボタン(帽子のアイコン)をクリックします。
- 3. 「イメージソース選択」ウィンドウが表示されます。

イメーシ*リース選択	×
	イメーシウースを選択して下さい。 イメーシウース (シージウース (シーズ)・フス (シーズ) (シーズ)・フス (シーズ)
	C¥ 参照
	< 戻る(B) 次へ(B) 年代セル



・スキャナから入力する場合

→「スキャナから入力」を選びます。「データの保存場所」にて、読み取った画像データの 保存先を指定します。保存先の変更は「参照」ボタンをクリックして行います。 (初期状態では『マイドキュメント』が保存先として指定されています)

・既に画像データが用意できている場合

→「ファイルの読み込み」を選び「次へ」を押します。「イメージファイルを開く」ウィンドウが 表示されるので、認識したい画像データを選択して「開く」をクリックします。Ctrl キーを押し ながら選択することで、複数のデータを選択可能です。(手順8へ)

4. 「ソースの選択」ウィンドウで、使用中のスキャナを選んで「選択」を押します。

ソースの選択	2
ソース: MIA-Brother MFC-9600J 1.0 (32-32)	
	選択
	**>セル

5. 「スキャン設定」ウィンドウが表示されるので、ここでスキャンする画像の種類や解像度など を設定します。

※使用するスキャナによって、表示される設定画面が異なります。

Shother MFC-96003を使ったスキャン ご区	
スキャンする対象を選択します。	詳細プロパティ
给纸方法(4)	詳細プロパティ
75%>K%>	外親
スキャンする画像の種類を選択してください。	me represe
▶ ○ カラー画像 @	of upperca
● ○グレースケール画像(③)	i, the wildca Jestion mari
<u> <u> </u> <u></u></u>	
(○カスタム設定(○)	400 全 白黒画像またはテキスト 🗸
また次のことも実行できます。 スペッンに古書の品質の開設	リセット(E)
ページサイズ②: A4 210 x 297 mm ©3 x 11.7 イマ プレビューの スキャンS キャンセル	OK

読み取り品質を設定する部分では、以下の設定を参考にしてください。

- ・原稿の種類: モノクロ画像、または OCR
- ·解像度: 400dpi 程度
- ・明るさ: 文字がかすれない程度の値

※これらの設定は、読み取りたい楽譜の印字品質に合わせて適時調整をして下さい。

### (注意) 「原稿の種類」には「カラー原稿」を設定しないで下さい。認識が正常に行えません。

6. スキャン設定ウィンドウにて「スキャン」をクリックすることで読み取りがスタートします。



7. 読み取りが終了したら「スキャン」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウに、読み取った楽譜画像がサムネイル表示されます。続けてスキャンしたい譜面 がある場合は「スキャン」ボタンをクリックすると再び「スキャン設定」ウィンドウが表示されますの で、先ほどと同じ手順にてスキャンを実行します。

必要な楽譜をすべてスキャンし終えたら「次へ」をクリックします。

8. 「イメージ設定」ウィンドウが表示されます。複数のページをスキャンした場合は、楽譜デー タに変換した際のページ順序をこのウィンドウで変更することができます。

● 敕 万 [・

	● 垂列.
イメージ設定	画像ファイルを番号順に並べます。
画典の順序を設定してがたい。 ファルの名約 サイズ フォルズ	●上に/下に:
UUT.pe 933 18 OVYrogram Files#2007-28-2910WScanMaric 204. 002.pe 929 KB OVYrogram Files#2007-28-2910WScanMaric 204.	選択したファイルの順序を変更します。
	●追加:
	変換したい楽譜画像ファイルを追加します。
〈戻る御〉 次へ御〉 キャンセル	●削除:
	選択した画像ファイルを削除します。

9. 「楽譜ファイルの保存先」ウィンドウが表示されます。ファイル(フォルダ)名の部分には 「データの保存先」にて指定した場所が表示されます。特に変更の必要がない場合は、そ のまま「次へ」をクリックして下さい。

業譜ファイルの保存先	×
	認識結果を保存するファイル(あるいはフォルケ)を指定してくだ さい。
	フォルクォルク名: C4Program FilesWシルバースタージャパン#Music Score
5	
	〈戻る④ 次へ@〉 キャンセル

10. 「認識処理中」ウィンドウが表示されて認識処理が始まります。「認識完了」ウィンドウが表示されたら「完了」ボタンをクリックして下さい。

認識処理中			認識完了
Ud6(b)#5/(25/∿	12週中のページ 地理した(ケージア)(AO放 低現小容: 単語アナ(Aの名称 OVDocuments and SettingsWy/Documents4, M07	1 0/1 僅中 2mf	原語記録の処理を完了しました。 処理したパーンファイルの統: 1 記録した無語の統: 1
	〈 戻る(B) 〉 次へ(N) 〉 第4	セル	く戻る(B) 売了社 キャンセル

11. 認識結果がメイン画面に表示されます。上段が認識結果、下段が元になった画像データ になります。



 画面右下にあります「MusicScore PRO3 起動」ボタンをクリックすると、認識した楽譜データ を MusicScore PRO3 にて展開します。PRO3 での展開が終了した時点で、ScanMusic 上の 楽譜データは閉じられます。



ウィザードを使用せずにマニュアル操作で楽譜を認識した場合は、このボタンを押すと「名前を 付けて保存」ウィンドウが開きます。ここで ZMF ファイルでの保存が終了した後、MusicScore PRO3 にて楽譜が展開されます。

読み込んだ楽譜が多声の楽譜だった場合、ScanMusic は音符尾の向きと音符の演奏開始タイ ミングから自動的に声部(ボイス)を判断して割り振ります。

### ウィンドウ詳細

メニューバー



1. 楽譜認識ウィザード (Ctrl + Shift + W)

認識ウィザード画面を開きます。

2. イメージファイルを開く (Ctrl + I)

既に画像データとして保存してある譜面を読み込みます。 「イメージファイルを開く」ウィンドウにて Ctrl キーを押しながらファイルをクリックすることで 複数のファイルを選択することができます。



3. スキャナから入力 (Ctrl + Shift + C)

スキャナより楽譜を取り込みます。「スキャン設定」ウィンドウが表示されます。

4. 認識 (Ctrl + Shift + R)

取り込んだ楽譜を認識・データ化します。

認識中			
現在ファイル	:	WS000000.BMP (1/1)	
処理内容	:	五線譜ではないことはとり除いています。	
	Ш		
全体パーセン	h:	23%	
	Ħ		
		++>セル(C)	

5. 再生 (Space)

認識した楽譜を演奏します。

6. 停止 (Space)

演奏を停止します。

7. プレイコントロール (Ctrl + Shift + Enter)

楽譜を演奏する際の音量やテンポを設定します。



新規作成(N)	
楽譜ファイルの読み込み(0)	Ctrl+0
楽譜ファイルを閉じる(⊆)	
上書き保存( <u>S</u> )	Ctrl+S
名前を付けて保存( <u>A</u> )	
イメージファイルを開く( <u>I</u> )	Ctrl+I
イメージファイルを閉じる	
X+r>	Ctrl+Shift+C
スキャナ暹択	
プリンタの設定(Ⴒ)	
印刷プレビュー(⊻)	
ED周]	Ctrl+P
最近ファイル	
終了(X)	Alt+F4

#### 新規作成

楽譜ファイルを新規作成します。

・ウィザード・・・ウィザード使用して認識作業を行います。

・音楽ファイル・・・空のファイルを作成して手動で認識作業を行 います。

#### 楽譜ファイルの読み込み(Ctrl + O)

ScanMusic ファイルを読み込みます。

#### 楽譜ファイルを閉じる

現在表示されているファイルを閉じます。

#### 上書き保存 (Ctrl + S)

作成中のデータを上書き保存します。

#### 名前を付けて保存

作成中の楽譜ファイルを別名で保存します。

#### イメージファイルを開く (Ctrl + I)

既に画像データとして保存してある譜面を読み込みます。

#### イメージファイルを閉じる

画像リストにて選択中の画像を、リストから消去します。

#### スキャナ (Ctrl + Shift + C)

スキャナより楽譜を取り込みます。「スキャン設定」ウィンドウが表示されます。

#### スキャナ選択

「ソースの選択」ウィンドウにて、使用中のスキャナを選択します。

#### プリンタの設定

「プリンタの設定」ウィンドウを開きます。印刷用紙サイズや印刷の向きを指定します。

#### 印刷 (Ctrl + P)

「印刷」ウィンドウを開きます。 ※プリンタの詳しい設定については、プリンタに付属のマニュアルをご覧下さい。

#### **最近開いたファイル:**最近開いたファイルを新しいものから4つまで表示します。

終了 (Alt + F4): ScanMusic を終了します。

#### ●表示

#### 楽譜表示 - イメージ表示 (Alt + 2)

楽譜表示 ▶	ScanMusic では、楽譜を認識する上で音楽記号として認識されなかった
<ul> <li>✓ イメージ表示 Alt+G</li> <li>✓ ウムネイル表示 Alt+N</li> </ul>	部分かそのまま画像アータとして保存されます。(歌詞など) 場合によってはこれらの画像が表示されたままでは見づらいこともありま
拡大/縮小(Z) ▶	すので、その際はイメーシ表示のチェックを外すことで、表示を隠すことができます。

#### イメージ表示 (Alt+G)

項目のチェックを外すと、認識元画像の表示を隠します。

#### サムネール表示 (Alt + N)

項目のチェックを外すと、画像リストのサムネイル表示を隠します。

拡大/縮小 (Ctrl + Shift + 2) (Ctrl + Shift + 1) (Ctrl + Shift + Z) 表示を拡大/縮小します。

#### ●イメージ

上へ

#### 上へ(Page Up)/下へ(Page Down) Page Up

FA Page Down 画像を180度回転

#### 画像を180 度回転

画像を180度回転します。

フ <sup>°</sup> レイコントロール	Ctrl+Shift+Enter
停止	Space
演奏	Space
始めから演奏	Ctrl+Space

#### 始めから演奏 (Ctrl + Space)

楽譜の最初から演奏します。

#### 演奏 (Space)

カレット(画面上で点滅している線)のある位置から演奏します。

画像リストに並んでいるサムネイルの順番を変えることができます。

# 停止(Space)

演奏を停止します。

#### プレイコントロール (Ctrl + Shift + Enter)

プレイコントロールウィンドウを表示します。 楽譜を演奏する際の音量やテンポを設定します。

▶ ScanMusic では、すべてピアノの音色で演奏されます。

●設定

MIDI出力机<sup>°</sup>-ト設定(<u>M</u>)...

MIDI 出力ポート設定

演奏の際に使用する MIDI ポートを指定します

●ウィンドウ 重ねて表示(C)

並べて表示(I)

アイコンの整列(<u>A</u>) すべて閉じる(<u>L</u>)

#### 重ねて表示

複数のファイルを開いている場合、それらを重ねて表示します。

#### 並べて表示

複数のファイルを上下に並べて表示します。

#### アイコンの整列

最小化した楽譜ウィンドウを画面下方に整列させます。

### すべて閉じる

開いているファイルをすべて閉じます。



Eix(山)...
 F1
 F1
 ScanMusic 2.0のバージョン情報(Δ)... Alt+F1
 ヘルプファイルを開きます

#### ScanMusic2.0 のバージョン情報 (Alt + F1)

ScanMusic の更新日時を表示します。

#### 画像リスト



「イメージファイルを開く」または「スキャンから入力」を使用して楽譜画像を読 み込んだ場合には、このリストにサムネイルで表示されます。

下にある矢印ボタンで、選択した画像の順序を変更することができます。画像の順序は、楽譜データに変換した際のページ番号にそのまま当てはまります。必要のない画像は×ボタンを押して削除できます。

#### 認識結果



楽譜画像の認識結果を表示します。

下部のコントロールパネルでは、カレットが現在置かれている小節番号や、ページ番号が表示 されます。 左枠の数字がページ数、右枠の数字が小節数を示します。 また「すべて」をクリックしてボイス別に音符を表示することもできます。

#### 認識元画像

この部分には、楽譜データの元画像が表示されます。

# ScanMusic ショートカットキー一覧表

ファイルメニュー			
新規作成	ウィザード	Ctrl + Shift + W	
	楽譜ファイル	Ctrl + N	
楽譜ファイルの読み込み		Ctrl + O	
上書き保存		Ctrl + S	
イメージファイルを開く		Ctrl + I	
スキャン		Ctrl + Shift + C	
印刷		Ctrl + P	
終了		Alt + F4	

表示メニュー		
楽譜表示-イメージ表示		Alt + 2
イメージ表示		Alt + G
サムネイル表示		Alt + N
拡大/縮小	拡大	+
	縮小	_
	200%	Ctrl + Shift + 2
	100%	Ctrl + Shift + 1
	画面に合わせる	Ctrl + Shift + 2

イメージメニュー		
上へ	Page Up	
下へ	Page Down	

演奏メニュー	
始めから演奏	Ctrl + Space
演奏/停止	Space
プレイコントロール	Ctrl + Shift + Enter

ヘルプメニュー	
目次	F1
ScanMusic2.0のバージョン情報	Alt + F1

# 認識可能記号

ScanMusic で認識可能な記号は以下になります。(コードネームも認識可能です)

### ※認識可能な記号であっても、画像の品質によっては認識できない場合もあります。

立动司卫.	2 1:10:10	譜表の途中に入力されたハ音記号
百部記方	ଞ୍ଚ 🖊 ୩୭ ୩୭ <sup>.</sup>	は認識できません。
音符	<b>■</b> ■■≷ŸŸŸ	
	● (付点) ● ● (複付点)	
	<b>治</b> (連符)	
臨時記号	# b 🗙 bb \$	
小節線		
繰り返し記号		
アーティキュ	$> - \div - \cdot$	
レーション	$\sim$	
タイ/スラー		
強弱記号		
拍子記号		2/2拍子を記号で表した ものは認識できません。
譜表連結 記号	ブレイス、ブラケット、二重括弧	

### こんなときは・・・

#### ・音符メニューが選択できない

譜面に入力した音符が選択された状態になっていないと、音符メニューは選択することができません。

# 小節の後ろに拍子記号や調号が表示されてしまう。 ・調号を変更した際に、新しい調号にナチュラルが表示されてしまう。



**解決方法**:「拍子記号の変更時、前の譜表の末尾に表示する」または「調号を変更する時、 前の調号を取り消す」にチェックが入っている場合、このように表示されることがあります。 これらの問題については、設定メニューの「基本設定-表示(103ページ)」を参照してください。

# 索引

# 

1 括弧	7
1 小節繰り返し	7
9	
2	
2小節繰り返し	7
8	
	-
8、16、32 分サノクルーノ	!
D	
D.C	)
D.S	)
F	
Fine	)
74	
1/1	
MIDI イベント	L
MIDI 環境設定16	3
MIDI キーボードでの入力	5
MIDI 機器の接続	3
MIDI ファイルで保存する	5
MIDI ファイル読み込み/録音設定101	L
S	

### W

/AV ファイルで保存する62
-----------------

## あ

アーティキュレーション	
アイコンサイズの変更	
アイコンの整列	
アッチェレランド	
アルペジオ	
アンインストール	

### い

移調	
異名同音に変換する	
イメージとして保存	
イメージパラメータの設定	
イメージメニュー(ScanMusic)	
イラストの挿入	
イラストの挿入(背景画像)	
色の変更	
印刷(ファイル編集ボタン)	
印刷プレビュー	
印刷プレビュー(ファイル編集ボタン)	
印刷用紙サイズに合わせる	
インストール	11

# 5

上の譜表/下の譜表に表示	80
上書き保存	61
上書き保存(ファイル編集ボタン)	21

# Ż

エラーを表示する	
演奏	
演奏(基本設定)	109
演奏ボタン	
演奏メニュー(ScanMusic)	
エンディング	

## お

オーナメント	;
オールノートオフ	;
オクターブ記号	)
オシア削除	,
オシア作成	,
音価変更79	)
音声入力	,
音部記号の設定	;
音符所属記号の削除73	;
音符属性変更	,
音符のサイズを変更する	;
音符の入力、消去、移動	
音符メニュー	,
音量調節(譜表設定)	,

拡大/縮小
楽譜移動ボタン
楽譜情報の入力
楽譜の間隔を細かく設定する108
楽譜の再描画
楽譜のマージ
楽譜ページレイアウト
楽譜メニュー
楽譜をデータ化する120
重ねて表示114, 127
歌詞の入力
歌詞の編集
カスタムシンボルの作成
カスタムシンボルの入力
画像データで楽譜を保存
楽器の変更(譜表設定)
括弧(基本設定)110
カラー(基本設定)105
カラーパレット
カレットの前/後の部分を一括削除73
間隔(基本設定)

## き

規格(基本設定)	
記号のサイズを変更する	
記譜クオンタイズ値	

基本設定	102
休符省略	88
休符の形を変更する	
強弱記号	
強弱記号の詳細設定(基本設定-演奏)	109
切り取り	
切り取り(ファイル編集ボタン)	

# く

空白のページを追加する	
クリア	
繰り返し括弧	
繰り返し記号	
グリッサンド	
クレッシェンドの入力	

# ٢

コーダ	
コードネームの入力	
コードネームのフォント変更	
コードネームの編集	50, 63
コピー(ファイル編集ボタン)	
混合拍子の設定	
コントロールパネル	

# さ

再クオンタイズ
---------

## L

自動間隔調整	112
自動伴奏をする	112
シャープの入力	
終止線	
消去ボタン	
小節削除	
小節数の調整(楽譜ページレイアウト)	
小節線を繋ぐ	
小節挿入	
小節幅の均等割付	
小節番号	
小節表示属性	89
小節/ページカウンター	58
小節メニュー	
書式バー	57
新規作成	60
新規作成(ファイル編集ボタン)	

# す

数字譜	
数字譜(基本設定)	
数字譜の設定方法	
ズームボタン	
図形の入力	
ステータスバー	
ステータスバーを表示する	

スフォルツァンド	
スプリット・ノート	
スペーシング	
すべて閉じる	
スラー	
スラー(音符メニュー)	

### せ

セーニョ	. 39
設定メニュー	. 99
前打音	. 33
選択ボタン	. 22

# Z

装飾音に変換(音符メニュー)	81
装飾音符	33
速度標語	48

# た

タイ	
タイ(音符メニュー)	
タイ/スラー(基本設定)	
タイトルの入力	
大譜表の括弧を付ける	
ダ・カーポ	
タブ譜	
タブ譜の設定方法	
ダル・セーニョ	

### ち

チャンネルの変更(譜表設定)	
チャンネルを譜表にする	
調号変更	
調号を隠す	
長前打音	

#### っ

ソールボックス
---------

# τ

停止	
テキストの入力	
デクレッシェンドの入力	
点線	
テンプレートを開く	
テンポ設定	

# Ŀ

閉じる	
トラックを譜表にする	
ドラム譜の設定方法	
ドラムマップ	
トランポーズ(譜表設定)	
トレモロ	

# な

ナチュラルの入力	
名前を付けて保存	
並べて表示	

# ĸ

二重線	
入力ツールバー	
入力ツールバーを表示する	
入力ボタン	
認識可能記号	

## О

残り入力可能数の表示
------------

# は

パート譜作成	63
ハーフペダル記号	41
背景イメージ削除	
背景イメージ設定	
背景イメージ挿入	
始めから演奏	
発想標語の入力	53
貼り付け	
貼り付け(ファイル編集ボタン)	
パレットを横向きに表示	59
ハンドルを表示する	74

### ひ

ピアノ	
微調整	81
表示(基本設定)	102
拍子記号を隠す	
表示倍率	
拍子変更	84
表示メニュー	74
表示メニュー(ScanMusic)	126
標準線	
標準ツールバーを表示する	74
拍子を記号で表記する	
開く	61
開く(ファイル編集ボタン)	21

# \$

ファイル編集ボタン	
ファイルメニュー	
ファイルメニュー(ScanMusic)	125
フィーネ	39
フォルテ	
フォント(基本設定)	106
フォント/サイズの変更	
不完全連桁の向きを変更する	
複数の音符を一度に変更する(音価、発音の長さ)	
符頭の形を変更する	
符尾の向きを変更する	

譜表削除	
譜表設定	
譜表挿入	
譜表属性	
譜表の間隔を変更する(基本設定-規格)	
譜表の規定間隔	
譜表の表示	
譜表連結/解除	
譜表を隠す	
フラットの入力	
プリンタの設定	
フルペダル記号	
プレイコントロール	
ブレイスの形を変更する(基本設定-括弧)	
プレイバックフォロー	
フレットボードの編集	
ブロックあたりの小節数	
ブロック数の調整(楽譜ページレイアウト)	
ブロックの間隔を変更する(基本設定-規格)	
ブロックの規定間隔	
ブロックの自動調節	
ブロックの小節数を増やす	
ブロックの小節数を減らす	
ブロックを左のページラインに合わせる	

 $\sim$ 

ページあたりのブロック数	98
ページ削除	95

ページ選択	
ページ挿入	
ページ番号の挿入(ヘッダー/フッターの入力)	69
ページラインを表示する	
ヘッダー/フッターの入力	69
ベロシティー変更	80
編集音を出す	112
編集メニュー	
編成	

## I

ボイス(基本設定)	
ボイスごとの音符入力	
ボイスを移動させる	
ポインタボタン	
補助ウィンドウボタン	

# ま

	マルチペー	ジ		2
--	-------	---	--	---

## み

右クリックメニュー	
-----------	--

### め

メゾピアノ	
メゾフォルテ	
メトロノーム音設定	
メニューバー(ScanMusic)	
# B

文字の入力	
元に戻す	
元に戻す(ファイル編集ボタン)	

## P

やり直し	. 73
やり直し(ファイル編集ボタン)	. 21

## よ

余白を調節する10	)8
-----------	----

## Ġ

ライブラリーの編集	. 63
ラッチボタン	. 26

## Ŋ

リズムパターンの作成	66
リズムパターンの入力	52
リズムパターン名を表示する	74
リタルダント	48
リピート演奏	112
リピート線	37
臨時記号(音符メニュー)	76

## 3

ルーラーを表示する	8, '	7	4
-----------	------	---	---

#### ħ

連桁の結合/解除	77
連桁の自動連結	112
連桁を自動で繋ぐ(連桁の自動連結)	112
連桁を変形する	
連符設定(音符メニュー)	
連符の入力	

### ろ

録音	
録音時メトロノーム音出し	

#### わ

和音に変換
-------

# 製品のサポートについて

- <u>ユーザー登録のお願い</u>
  同梱されているユーザー登録はがき(アンケートはがき)に必要事項を記入の上、ご返送下さい。はがきを返送いただけないと、サポートを受けることができない場合がございますので、ご注意下さい。
- 保証について 保証期間は、お買い上げいただきました日から1ヶ月間となります。この期間に、マニュア ルに従い使用したにもかかわらず、正常な使用ができなかった場合には、無償で新品と お取り替えいたします。
- 交換方法
  製品 CD-ROM と不具合状況をご記入の上、サポートセンターまでお送り下さい。
  なお、本ソフトの使用により生じたいかなる事項に対しても、当社は上記以外の責任を一切負いかねますのでご了承下さい。

ご使用の上でご不満な点やご意見がありましたら、株式会社シルバースタージャパンまでお知らせください。今後の製品開発の参考にさせていただきます。

〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町2丁目20番地 濃飛ビル11階 株式会社シルバースタージャパン「MusicScorePRO3」サポート係 FAX: 058-213-7398 電子メール: support@silverstar.co.jp ホームページ: https://www.silverstar.co.jp/

ソフトウェアのバージョンアップや不具合があった場合は、ホームページ上にて修正ファイルを 公開いたします。

#### 土、日、祝日、年末年始などはお休みをいただきます。 なお、お問い合わせはファックス、または電子メールにてお願いいたします。

お問い合わせの際には以下の事項をお聞きいたしますので、あらかじめお調べ頂けますよう お願いいたします。

- 商品名 (MusicScore PRO3)
- Windows のバージョン(10、8.1、7)
- パソコンのメーカー、機種名(型番)
- 具体的な症状(エラーメッセージの内容など)

問題解決の参考とするために、作成頂きました楽譜データをお送りいただく場合もございます。

Windows の操作方法やパソコンの設定、その他、音楽制作そのもの(音楽理論など)について のご質問にはお答え致しかねますので、予めご了承下さい。

ご質問の内容によっては、回答にお時間を頂く場合がございます。